

II 芸術文化事業の状況（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

- ・文芸館

ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター、文化情報プラザ、スカイフォーラム

- ・市民会館(定員 1,022 名)

- ・東部市民センター（定員 495 名）

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名	日本自分史センター運営		
ミッション	4 地域コミュニティ形成ーつながる		
日時	通年（月曜休み）9:00～19:00、自分史相談は毎週火曜日 13:00～17:00		
会場	日本自分史センター		
相談員	芳賀倫子		
入場料等	無料		
利用者数	531 名	利用率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	566,896 円
データ	蔵書 8,513 タイトル／寄贈 62 タイトル／書籍貸出 89 冊／相談日数 45 日／相談件数 87 件		
事業内容	<p>(1) 全国の自分史関連団体や個人の自分史作品を受け入れ、収集・保存・公開を行う。</p> <p>(2) 専門の相談員が無料で行う「自分史相談」を定期的に開催し、文章の書き方から書籍発行まで、レベルや要望に合わせて相談に応じている。</p>		
成果	<p>(1) 公共施設が自分史事業を柱にしているのは珍しく、全国各地から来館者が訪れる。大学の研究目的の利用も多い。文化情報プラザにも本棚を設置し、効果的な自分史のアピールを進めている。</p> <p>(2) 「自分史相談」では、自分史を作りたい人はもちろん、自分史制作後の報告にも訪れている。自分史サークルの定期的な自分史制作活動は、地域交流の場を作りあげている。</p>		
備考			

事業名	自分史講座		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
会場	会議室、文化活動室、視聴覚ホール、特別室		
受講者数	計 61 名	受講率	—
		自主財源比率	30.3%
収入	138,000 円	助成金	—
		支出	455,643 円
事業内容	<p>(1) 「トークイベント」</p> <p>① vol. 4 「家族のこと 話そう」を話そう</p> <p>6/4（日）14:00～15:30 会議室 参加料:500 円 参加者数:12 名</p> <p>ゲスト:長田真由美（中日新聞 生活部記者）、深谷里奈（フリーアナウンサー）</p>		

②vol. 5 「市民と共に作る演劇」のこと、話そう [再掲]

7/1 (土) 14:00~15:30 視聴覚ホール 参加料:500円 参加者数:24名
ゲスト:有門正太郎(俳優・劇作家・演出家)、寺田剛史(舞台俳優)、
吉松寛子(北九州芸術劇場「Re:北九州の記憶」プロデューサー)

(2) 「エッセイ講座」

7/8、15、29、8/5、19、26、9/2, 9の土曜日 10:30~12:30 全8回
文化活動室 受講料:4,000円 受講者数 24名

講師:芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)

(3) 「わたしの言葉をみがく、作文講座」

講師:宇野哲代(ことばの泉 作文研究室)

①小中学生向け 8/17(木) 10:30~12:30 文化活動室

受講料:1,000円 受講者数:2名

②高校生~大人向け 8/20(日) 10:30~12:30、14:00~16:00 文化活動室

受講料:一般2,500円、高校生1,000円 受講者数:13名(内、高校生1名)

(4) 「モヤモヤとモヤモヤのあいだ」

講師:古橋敬一(フィールドワーカー、愛知学泉短期大学専任講師)

選書:尹雄大(もの書き、インタビュアー)

①大人向け 3/21(木) 14:00~16:00 特別室 参加料:300円 参加者数:8名

②10~20代向け 3/29(金) 14:00~16:00 特別室 参加料:300円

参加者数:2名

成 果

(1) 自分史の「文章を書く」イメージを払拭し、自分史について気軽に語る・考える場を持つと、昨年度よりトークイベントを開催。30年前から続く個人が家族を語る人気連載記事を取り上げたり、高齢者の話をもとに演劇創作してきた北九州芸術劇場の事例発表を行ってもらったり、自分史の多様性と可能性を提示した。

(2) 一人ひとりが作品を発表し、他人の作品を聞く時間も有意義であると評判のエッセイ講座。これまで平日の夜間開催だったが、土曜日の午前中に設定。定員以上の応募があった。お盆休みを挟んだため宿題を書く時間が十分とれ、毎回力作が生まれた。また、参加者が作品をまとめて簡易本にするという、自主的な活動が生まれた。芳賀氏が講師を務めるエッセイクラブへは15名が入会した。

(3) 目の前にあるものをじっくりと見て言葉に置き換えていく、実践的な文章講座を開催。高校生~大人向けに多くの応募があったため、2回講座に変更した。急がず丁寧に場面一つ一つを書く訓練や、ここにはいない人にも伝わる文章作りは新鮮だったようで、シリーズで受講したいという声も頂いた。

(4) 後掲の「劇場等文化施設を活用した孤独・孤立対策のための地域交流拠点の整備事業」で好評を得て、再度開催した講座。参加者同士のモヤモヤした気持ちを共有し、生きづらさや悩みを解きほぐす時間となった。見ず知らずの人同士だからこそ話せる場であり、「話す・聞く自分史」へと可能性を広げた。大人の回はキャンセル待ちも出た。

備 考

事業名	公募自分史		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
募集期間	6/15(木)～10/15(日)		
審査員	芳賀倫子(日本自分史センター相談員、シナリオライター)、小松原康平(中日新聞記者)、清田麻衣子(里山社/ゲスト審査員)		
入場料等	無料		
利用者数	—	利用率	—
		自主財源比率	0.8%
収入	7,100円	助成金	—
		支出	872,775円
データ	応募数/121作品 作品集への掲載/14作品 作品集/1冊 500円(税込)		
事業内容	初心者でも比較的取り組みやすい短編の自分史作品を全国から公募。21回目を迎えた。今回のテーマは「わたしの よりみち かえりみち」とし、自分史作品を募集した。また、高校生を対象にした自分史イベントを開催した。		
成果	応募点数は昨年より40作品ほど減少したが、年齢は10歳から91歳までの幅広い年代からの作品が集まり、若年層が若干増えた。また、今年度より作品集の体裁や印刷方法を変え、価格を見直した。また、掲載者の交流会を開催するなど、コミュニティの醸成に努めた。		
関連事業	(1) 高校生と話そう ～第20回掌編自分史作品集「はじめまして」を読んで～ 7/16(日) 14:00～15:30 会場: 愛知県立春日井高校 参加者数: 15名 講師: 小松原康平(中日新聞記者)、宇野哲代(ことばの泉 作文研究室)		
備考			

事業名	劇場等文化施設を活用した孤独・孤立対策のための地域交流拠点の整備事業		
ミッション	4 地域コミュニティー形成		
会場	会議室、文化活動室、特別室		
受講者数	計50名	受講率	—
		自主財源比率	105.3%
収入	7,800円	受託料	999,900円
		支出	956,742円
事業内容	<p>令和5年に公布された「孤独・孤立対策推進法」を受け、誰にでも起こりえる“孤独・孤立”の問題に対して、地域の公立文化施設が課題解決のプラットフォームとして持続的・安定的に機能するための支援モデル構築を目的とした事業。(公社)全国公立文化施設協会から受託し、以下二つの事業を実施した。</p> <p>伴走支援者: 古橋敬一(愛知学泉短期大学講師、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ理事)</p> <p>(1) 「あなただけの”とっておき”のアルバムをつくろう」 講師: 浅田政志(写真家) 12/13(水) 10:00～14:00 会議室 参加料: 300円 参加者数: 10名 12/23(土) 10:00～14:00 会議室 参加料: 300円 参加者数: 16名</p> <p>(2) 「モヤモヤの正体 わたしと身体つながりを知る」 講師: 尹雄大(もの書き、インタビュアー) 「モヤモヤを聞く」大人向け 12/15(金) 13:30～16:30 文化活動室 参加料: 無料 参加者数: 19名</p>		

	「モヤモヤを話す」10-20代向け 12/16(土)14:00~17:00 特別室 参加料:無料 参加者数:5名
成 果	(1) 高齢者やシングルマザーら参加者が、過去を振り返る「記念日」を作り、お互いの人生を追体験するワークショップ。個々のプライベートなストーリーが共有されると、大切な人とのつながりが再確認でき、居合わせた人々とも共有できる時間となった。 (2) 「聞くこと・話すこと」で、うまく言葉にできないモヤモヤや生きづらさを解きほぐす講座。ケアマネージャーのような傾聴を仕事とする方を対象にしたものと、話す相手や機会が無い当事者を対象にした講座を実施。孤独・孤立にまつわる個々の事情を積極的に自己開示したことで、深いコミュニケーションが図られた。少人数で学び合える機会そのものが少なく、継続開催を望む声が多かった。
備 考	主催/公益財団法人かすがい市民文化財団、公益社団法人全国公立文化施設協会

(2) 美術系事業

事業名	新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	4/29(土・祝)~5/21(日)10:00~17:00 20日間 月曜休館		
会 場	ギャラリー		
出品作家	山田雅哉(日本画家)		
入場料等	無料		
入場者数	2,430名	入 場 率	— 自主財源比率 14.2%
収 入	238,130円	助 成 金	— 支 出 1,680,628円
事業内容	春日井市出身・在住の画家、山田雅哉氏の地元初となる大規模個展。高校生時代の作品に始まり、東海テレビ「ニュース One」のスタジオセット、二十四節気を表現した最新作「Angel」までの85点を一堂に展示した。		
成 果	はるる5月号の表紙・巻頭特集になったほか、5/2放送の東海テレビ「ニュース One」でも紹介され、目標値を大幅に超える2,430名の来場者数を記録した。作家自身も毎日会場に在廊して市民との交流を図り、リピーターとなる来場者も多かった。会期後は図録を制作し、県外の書店でも取り扱って頂けることになった。作品と作家の魅力を十分に伝える展覧会を開催することができ、新進作家支援事業としての目的を果たすことができた。		
関連事業	(1) ギャラリートーク 5/7(日)、21(日)14:00~15:00 ギャラリー 参加料:無料 参加者数:100名 (2) 缶バッジ・マグネットワークショップ 5/3(水・祝)、7(日)11:00~12:00、15:00~16:00 ギャラリーホワイエ 1個:500円 参加者数:124名 (3) 夜コン「ラフマニノフ生誕150周年」ミニトークゲスト参加[再掲] 5/12(金)19:00~20:00 交流アトリウム 参加料:無料 参加者数:236名		
備 考	協力/東海テレビ放送		

事業名	のだめカンタービレ展		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	11/25 (土) ~12/24 (日) 10:00~17:00 26日間 月曜休館		
会場	ギャラリー		
出品作家	二ノ宮知子		
入場料等	2,000円、中高生1,400円、小学生1,000円、未就学児・障がい者及び介助者1名無料		
入場者数	1,591名	入場率	— 自主財源比率 37.6%
収入	2,507,654円	助成金	250,000円 支出 7,341,557円
事業内容	2021年に20周年を迎えたクラシック音楽をテーマとした漫画「のだめカンタービレ」の、連載当時の貴重なネームや完成原稿を展示する展覧会。同展覧会は、2022年に東京、大阪と巡回し、春日井市が最後の開催地となった。		
成果	来場者の多くが1時間以上滞在しており、鑑賞者アンケートでは98.4%の方が「満足」もしくは「まあ満足」と回答した。また、物販の客単価は4,233円と非常に高く、漫画の原画展におけるグッズ販売力の高さを感じた。 地域との連携企画として、広小路及び鳥居松商店街にPRフラッグを約150本掲出。会期中は商店街が「のだめカンタービレ展」一色に染まった。また、ホテルプラザ勝川のレストラン「ソレイユ」と開発したコラボメニュー(11/25(土)~12/17(日)販売)は92食が提供され、市内のクラフトビール店「バタフライブルワリー」と開発したイラストラベル付きビール(11/25(土)~12/24(日)販売)は571本を売り上げた。		
関連事業	12/24(日)原作者 二ノ宮知子先生サイン会(参加者数:96名) 11/25(土)~12/24(日)ストリートピアノ ※12/1、2、8、17を除く		
備考	企画/株式会社ムービック、協賛/三菱UFJ銀行春日井支店		

事業名	中日新聞報道写真展		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	2/17(土)~3月7日(木) 10:00~17:00(17日間)月曜休館		
会場	ギャラリー		
出品作家	中日新聞社写真部		
入場料等	無料		
入場者数	1,732名	入場率	— 自主財源比率 —
収入	—	助成金	— 支出 78,104円
事業内容	2022年から2023年に中日新聞紙面に掲載された報道写真を展示。中部写真記者クラブ主催「中部報道展」で展示された写真パネルを中心に、9つのジャンルに分けて展示を行った。		
成果	作品をジャンルに分けて展示したことで、時系列で展示された中部報道展とは違った切り口の展覧会となった。また、春日井特集コーナーを設けて、春日井特産のサボテンや世界で活躍するスポーツ選手なども紹介。来場者に地元を知っていただく機会となった。		
備考	協力/中日新聞社		

事業名	みんなの美術部 2023		
ミッション	6 人材育成—はぐくむ		
入場料等	デッサン講座・色彩講座・デザイン講座 500 円、小中高生 300 円 秋の遠足 3,000 円、小中高生 1,000 円 クラフト講座 1,000 円、小中高生 500 円		
参加者数	244 名	入場率	—
収入	140,100 円	助成金	—
		自主財源比率	14.0%
		支出	1,003,139 円
事業内容	<p>誰でも参加できる部活として、様々なジャンルの講座を企画。作品制作だけでなく、鑑賞することや話し合う時間も重視して実施した。</p> <p>[前期]</p> <p>(1) 山田雅哉先生の「デッサンに挑戦して、“みる力”を磨こう！」 ① 6/24 (土)、② 7/1 (土) 10:00~12:30/14:00~16:30 会場：会議室 参加者数：①22名/25名 計 47名、②22名/23名 計 45名 講師：山田雅哉 (日本画家)</p> <p>(2) 山田雅哉先生の「色の作り方とぬり方を学ぼう！」 ① 7/8 (土) ② 7/15 (土) 10:00~12:30/14:00~16:30 会場：会議室 参加者数：①25名/22名 計 47名、②23名/24名 計 47名 講師：山田雅哉 (日本画家)</p> <p>(3) 秋の遠足「小原和紙のふるさとで和紙の魅力を知ろう！」 10/15 (日) 9:15~16:30 会場：豊田市小原和紙のふるさと 参加者数：22名 講師：小原和紙のふるさと工芸員、春日井範之 (和紙工芸作家)</p> <p>[後期]</p> <p>(4) hokori 先生の「小さくてかわいい豆本の世界」 2/23(金・祝)14:00~16:30 会場：会議室 参加者数：20名 講師：hokori (豆本作家)</p> <p>(5) 「マスキングテープで壁画を作ろう！」 3/2(土)10:00~15:00 会場：交流アトリウム 参加者数：16名 講師：林幸秀 (造形作家)、山田雅哉 (画家)、安藤シオン (イラストレーター)</p>		
成果	<p>10代から70代までの幅広い年齢層の方が参加され、世代間交流を促進することができた。絵画に興味のある人が多いことから、前期はデッサン講座と色彩講座を開催し、好評を博した。また、通年で活動してほしいという要望に応じて、空白期であった秋に遠足企画を実施した。後期はクラフト講座とデザイン講座を開催するなど、絵画以外のジャンルを開催。参加者が自分自身の成長を感じ、新しい発見が得られる機会を提供できた。</p>		
備考	助成/子どもゆめ基金		

(3) 舞台系事業

事業名	【共催】市制 80 周年記念 第 30 回日本舞踊鑑賞会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	5/14 (日) 12:30~17:00		
会場	市民会館		
出演	春日井市日本舞踊協会、坂東玉三郎、梅川壱ノ介、富山清琴 (三絃・歌)、 富山清仁 (箏・歌)		
入場料等	5,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (23 人)		
入場者数	739 名	入場率 78.0%	自主財源比率 54.2%
収入	3,412,896 円	助成金 —	支出 6,299,129 円
事業内容	昭和 53 年の発足以来、春日井の舞踊文化を支え続ける春日井市日本舞踊協会と財団が共催し、特別ゲストを招くなどして地元舞踊文化の向上のために開催してきた継続事業。様々な流派の協会員が演じる華やかな古典舞踊と、今回のゲストとなる人間国宝・坂東玉三郎丈や新進気鋭の若手舞踊家・梅川壱ノ介氏による舞踊やトークを披露した。		
成果	4 年ぶり 30 回目の開催となり、過去の集大成に相応しい華やかな舞台となった。協会からは、藤間流、宗家藤間流、稲垣流、赤堀流、西川流の舞踊家が一堂に会し、流派ごとの違いを楽しむことができる貴重な機会となった。アンケートの来場者満足度は高く、ゲストに対する絶賛の声も多く寄せられた。		
備考	共催/春日井市日本舞踊協会		

事業名	帰ってきた びわ湖ホール四大テノール・コンサート		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	6/11 (日) 14:00~16:15		
会場	市民会館		
出演	竹内直紀 (テノール)、清水徹太郎 (テノール)、山本康寛 (テノール)、 古屋彰久 (テノール)、植松さやか (ピアノ)		
入場料等	3,000 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (11 名)		
入場者数	545 名	入場率 55.2%	自主財源比率 88.4%
収入	737,492 円	助成金 —	支出 834,636 円
事業内容	春日井公演は 10 年ぶりとなる、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールのオリジナル企画。「歌声でお客様を元気にし、笑顔でお帰り頂く」をモットーに、テノール 4 人が極上の歌声を聞かせる。初心者にも楽しめるよう趣向が凝らされ、新規顧客の開拓につながった。今回は 2020 年に急逝した元メンバーに代わり、その弟子で愛知県津島市出身の古屋彰久が出演。		
成果	古屋氏は本公演が「びわ湖四大テノール」として初の出演となった。春日井公演のためにピアニスト植松氏が編曲した「かすがい音頭」も演奏。楽譜を贈呈する場面もあり、春日井限定の演出に親近感を覚えた来場者も多かった。本公演は、PiPi 会員優待企画として会員価格を 1,000 円に設定。新規入会のきっかけとなった。		
備考			

事業名	松竹大歌舞伎		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	7/30（日）昼の部 12:00～14:45、夕方の部 16:30～19:15		
会場	市民会館		
出演	尾上松緑、中村梅枝、坂東新悟、尾上左近、中村萬太郎、坂東亀蔵		
入場料等	昼の部:S席7,500円、A席5,500円、B席3,500円 夕方の部:S席6,500円、A席4,500円、B席3,000円 25歳以下1,500円（昼2名、夕4名）、学生の特券:500円（昼18名、夕25名）		
入場者数	計1,042名	入場率	52.6%
		自主財源比率	66.2%
収入	6,357,417円	助成金	360,000円
		支出	10,151,832円
事業内容	地方でも一流の伝統芸能に触れられる機会をと、春日井市で約半世紀近く開催している歌舞伎公演。コロナ禍以来4年ぶりの開催となる。若い世代にも伝統文化に親しみを持ってもらうため、「学生の特券」対象公演としている。		
成果	巡業公演では演じられる機会の少ない玄人向けの演目ではあったものの、それぞれに見応えがあり、来場者からは俳優たちの演技や舞踊の素晴らしさにも賛美が送られた。また、小中学生向けの公演チラシを作成・配布。子連れで来場された保護者からは「子どもと一緒に初めて歌舞伎を見たが、素晴らしかった。学生は500円という低価格で見られるのもよい」という回答が多数あり、日ごろ取込み難い40代の親世代にも歌舞伎をご覧いただける機会となった。		
関連事業	（1）葛西聖司の極付！歌舞伎セミナー 6/17（土）13:30～15:00 市民会館 入場料：500円 ※春日井市民会館開催「松竹大歌舞伎」チケット提示で無料入場 入場者数210名 講師：葛西聖司（伝統芸能解説者、元NHKアナウンサー） （2）学生の特券 要点解説 7/30（日）昼の部11:15～11:30／夕方の部15:45～16:00 視聴覚ホール 参加料：無料（「松竹大歌舞伎」学生の特券提示） 参加者数：昼の部大人13名、学生15名／夕方の部一般32名、学生19名		
備考	助成／瀬戸信用金庫地域振興協力基金		

事業名	ミュージカル「カラフル」		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日時	①8/26（土）16:00～18:00、②8/27（日）13:00～15:00		
会場	市民会館		
出演	鈴木福、川平慈英、加藤梨里香、百名ヒロキ、石橋陽彩、菊池和澄、彩乃かなみ、川久保拓司、他		
入場料等	5,500円、25歳以下3,500円（85名）、学生の特券（小中校生）1,000円（272名）		
入場者数	1,152名	入場率	62.7%
		自主財源比率	42.0%
収入	4,736,086円	助成金	—
		支出	11,272,643円

事業内容	直木賞作家・森絵都によるベストセラー小説を原作とする新作ミュージカル。国内外で活躍する演出家による脚本を、テレビドラマや映画・舞台でよく見かける有名俳優らが演じる本格的な舞台。
成果	主演の鈴木福氏をはじめ、テレビドラマ俳優や声優として評価される出演者たちの演技に、涙した鑑賞者も多くいた。心温まる友情物語に加え、舞台上にミストを放出する特殊な演出が観客を魅了。1998年出版当時は10代だった世代から出演者のファン世代など、比較的若い来場者に、質の高い舞台公演をご覧いただくことができた。
備考	

事業名	立川志の輔独演会		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	9/18 (月・祝) 14:00~16:30		
会場	市民会館		
出演	立川志の輔、立川志の麿、立川志の彦		
入場料等	4,500円、学生の特券(小中高生)500円(18名)		
入場者数	982名	入場率	99.0%
		自主財源比率	134.9%
収入	4,220,061円	助成金	—
		支出	3,129,093円
事業内容	師匠である立川談志から「立川流の最高傑作」と評される実力を持ち、今最もチケットが取れない落語家と言われる立川志の輔の落語会。春日井市では平成17年以来の開催となり、市民にとって待望の高座となる。		
成果	チケットは発売後数日で完売。高座ではサボテンネタを何度も取り上げ、最後には客席と三本締めを行い大いに盛り上がった。アンケートには「久しぶりに落語会に参加した」というコメントが多く、人気・実力を伴った落語家の公演で、コロナ禍後の舞台鑑賞へのきっかけを作ることができたと言える。		
備考			

事業名	手寫葵 concert 2023 ~Trio~		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日時	10/9 (月・祝) 16:00~18:15		
会場	市民会館		
出演	手寫葵、バックバンド(大坂孝之介(ピアノ)、江部和幸(ギター・ヴァイオリン))		
入場料等	6,500円、25歳以下3,000円(111名)		
入場者数	732名	入場率	76.1%
		自主財源比率	104.5%
収入	4,202,999円	助成金	—
		支出	4,023,920円
事業内容	スタジオジブリ映画「ゲド戦記」の挿入歌「テルーの唄」で2006年にメジャーデビューした手寫葵は、その後も独特の世界観を持つ楽曲を発表し続け、数々の映画テーマソングやドラマ主題歌を歌っている。鑑賞率の低い30代から40代の働く世代に向けて、やわらかく存在感のある歌声で非日常を味わうことのできる場を提供する。		

成 果	目標入場者数には達しなかったものの、自主財源比率は 100%を超える結果となった。チケットぴあ・イープラスでの購入者が 248 名と全体の 34%を占めており、普段市民会館に馴染みのない方も多く集客できたことが伺える。手嶌葵の唯一無二のウィスパーボイスは多くの来場者を魅了。アンケートによる公演内容への満足度は 97.8%となった。アンケートの自由記入欄には、初めての春日井公演を待ち望んでいた声も多くみられた。
備 考	

事業名	OKB 大垣共立銀行 presents 第 47 回春日井まつり前夜祭 世良公則 KNOCK KNOCK 2023 with 渡辺美里&NAOTO		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	10/20 (金) 18:45~20:45		
会 場	市民会館		
出 演	世良公則、渡辺美里、NAOTO		
入場料等	6,800 円		
入場者数	927 名	入 場 率 97.9%	自主財源比率 110.1%
収 入	6,878,924 円	助 成 金 —	支 出 6,249,619 円
事業内容	春日井まつり実行委員会から業務を請け負っている「春日井まつり前夜祭」。今年度は「銃爪」「燃えろいい女」など数多くのヒットナンバーを世に送り出した世良公則が、日本を代表する女性ヴォーカリスト渡辺美里と、華麗なパフォーマンスで人気のヴァイオリニスト NAOTO とともにアコースティックライブを披露する。		
成 果	チケット発売前から多くの問い合わせがあり、チケットは発売後 2 週間足らずで完売。市制 80 周年に相応しい大物アーティストを招聘することができ、アンケートには「まさか春日井に来てくれるなんて」という感想もみられた。3 人のパワフルな演奏に会場は大いに盛り上がった。		
備 考	主催／春日井まつり実行委員会、春日井市 特別協賛／OKB 大垣共立銀行		

事業名	市制 80 周年記念事業 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ニューイヤー・コンサート		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	1/8 (月・祝) 15:00~17:15		
会 場	市民会館		
出 演	茂木大輔 (指揮とお話)、飯田みち代 (ソプラノ)、石井琢磨 (ピアノ) 名古屋フィルハーモニー交響楽団		
入場料等	S 席 5,500 円 A 席 5,000 円 学生の特券 (小中高生) 500 円 (100 名)		
入場者数	935 名	入 場 率 96.4%	自主財源比率 68.9%
収 入	4,367,652 円	助 成 金 250,000 円	支 出 6,705,495 円
事業内容	漫画のシーンを辿りつつ、楽曲の背景を伝えるスライド解説を活用しながら、華やかでオリジナルティあふれる演奏をお届けする「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」。本公演ではお馴染みとなっている茂木大輔による指揮のもと、名古屋フィルハーモニー交響楽団と春日井広報大		

	使の飯田みち代氏、SNS等で人気のピアニスト石井琢磨氏の2名のソリストが舞台に立つ。演奏曲は、原作漫画の新装版にも盛り込まれたR. シュトラウス「ばらの騎士」の組曲のほか、ニューイヤーズ・コンサートにふさわしくウィンナ・ワルツやラデツキー行進曲（アンコール）が並ぶ。
成 果	市民会館での開催は6年ぶりであり、またピアニストの人気も高いことから前評判が高く、公演1カ月前には完売となった。アンケートでは演奏そのものへの評価のほか、スライドに対しての好意的な意見が多数を占めた。展覧会とも合わせて広小路及び鳥居松商店街に掲出した150本のPRフラッグが高い宣伝効果を生んだ。
備 考	協賛／三菱UFJ銀行春日井支店

事業名	ダ・カーポ デビュー50周年コンサート		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日 時	4/23（日）14:00～15:30		
会 場	東部市民センター		
出 演	ダ・カーポ（榊原まさとし、広子、麻理子（フルート））、渡辺雅二（ピアノ）、大平重成（ギター）		
入場料等	4,800円、学生の特券（小中高生）500円（6名）		
入場者数	406名	入 場 率	84.6%
		自主財源比率	91.2%
収 入	1,917,571円	助 成 金	—
		支 出	2,102,676円
事業内容	「結婚するって本当ですか」「野に咲く花のように」など数々のヒット曲を生み出し、デビュー50周年を迎えたダ・カーポ。高度経済成長期に高蔵寺ニュータウンに移り住んだ世代が聞き馴染んだ歌の数々を、東部市民センターで披露する。		
成 果	入場率84.6%となった本公演。アンケートには「懐かしい気持ちになった」「青春時代を思い出した」など好意的なコメントが多く寄せられた。MCでの客席とのやりとりや、終演後のサイン会でも多くの方が出演者との交流を楽しんでおり、終始和やかな雰囲気のコネクトとなった。		
備 考			

事業名	蝶花楼桃花 真打昇進披露公演		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日 時	6/25（日）14:00～16:30		
会 場	東部市民センター		
出 演	蝶花楼桃花、春風亭昇々、桂宮治、玉川太福、玉川みね子、柳家しろ八、林家けい木		
入場料等	4,000円、学生の特券（小中高生）500円（14名）		
入場者数	440名	入 場 率	89.2%
		自主財源比率	84.5%
収 入	1,690,216円	助 成 金	—
		支 出	2,000,450円
事業内容	若手噺家のホープである蝶花楼桃花の落語会。人気・実力を伴った女性落語家の高座は、性別・世代を超えて開きつつある落語の世界をに触れるきっかけとなる。		

成 果	蝶花楼桃花をはじめ個性豊かな出演者が講座を披露。春日井市出身の柳家しる八が急遽出演するなど、蝶花楼桃花の「真打昇進」を祝う華やかな舞台となった。アンケートからも「明るい雰囲気楽しめた」という意見が多くみられた。
備 考	

事業名	東部市民センター開館 40 周年記念コンサート 高蔵寺クインテット		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	7/2 (日) 15:00~17:00		
会 場	東部市民センター		
出 演	山本友重 (ヴァイオリン)、瀬木理央 (ヴァイオリン)、小林伊津子 (ヴィオラ) 山本裕康 (チェロ)、河尻広之 (ピアノ)		
入場料等	3,500 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (16 名)		
入場者数	325 名	入 場 率	66.9%
		自主財源比率	177.8%
収 入	2,098,000 円	助 成 金	—
		支 出	1,180,027 円
事業内容	東部市民センター開館 40 周年を記念し、春日井市出身で国内有数の弦楽器奏者、山本友重 (名フィル首席客演コンサートマスター) と、山本裕康 (東京音楽大学教授) の二人 (兄弟) を中心とした、いずれも春日井市に所縁のある 5 人による室内楽コンサート。メンバーは当財団がキャスティングしたもので、この日のためだけに組まれた「春日井オリジナル」の企画である。弦楽器とピアノの編成により、スタインウェイピアノの活用と魅力の発信にも寄与する。		
成 果	山本兄弟による気取らないトークと、メンバー全員の高い演奏力との相乗効果で、祝祭的でアットホームな雰囲気の公演となった。ロビーには山本裕康が 1989 年に東部市民センターに出演した際の公演パンフレットを展示し、開館当時からこれまでのセンターの歴史に想いを馳せる演出をした。終演後、ロビーでは多くの来場者が出演者と談笑する様子が見られ、出演者からは「このように新鮮な気持ちで音楽に集中して取り組める企画が、“地元”春日井で実現できたことに感謝したい」といったコメントが寄せられた。		
備 考	主催/東部市民センター		

事業名	ラルンベ・ダンス「エアー ～不思議な空の旅～」		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
日 時	7/23 (日) 14:00~15:00		
会 場	東部市民センター		
出 演	マド・ダレリー、ルシーア・モンテス		
入場料等	3,800 円、学生の特券 (小中高生) 500 円 (44 名)		
入場者数	173 名	入 場 率	44.6%
		自主財源比率	16.6%
収 入	408,702 円	助 成 金	—
		支 出	2,467,717 円
事業内容	スペインを拠点に活動するコンテンポラリーダンスカンパニー「ラルンベ・ダンス」。社会問題を題材として取り入れながら、3D映像とダンスを融合させた愉快的なステージで、子		

	どもたちを魅了している。本公演では大気汚染をテーマに、次世代を担う子どもたちをはじめとした多くの市民に、楽しみながら社会問題について考えるきっかけを提供する。
成 果	映像があることで、コンテンポラリーダンスに慣れていない方でも親しみやすく、没入感が味わえる公演となった。特に、子どもたちにとっては印象的だったようで、アンケートでは「3D映像と踊りの組み合わせがすごかった」「体が柔らかくてビックリした」などの声が多かった。
備 考	協賛／サンマルシェ

事業名	市制 80 周年記念 朗読でなぞる Shinzi Katoh 宮沢賢治幻燈館		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日 時	2/25 (日) 15:00～17:30		
会 場	東部市民センター		
出 演	Shinzi Katoh、桑島法子、オカリナ室内合奏団クオーレ (松岡啓子、松本恵美子、佐藤益子、水野一枝)、LOVE KNOW (福田勝太、大竹かな子、鈴木豊大)		
入場料等	4,000 円、学生の特券 (小中校生) : 500 円 (40 名)		
入場者数	439 名	入 場 率	98.2%
		自主財源比率	82.3%
収 入	2,921,121 円	助 成 金	—
		支 出	3,549,754 円
事業内容	文化財団が企画・制作を行うオリジナル朗読公演。春日井市在住の世界的デザイナー ShinziKatoh の描いた作品を中心に、宮沢賢治と同じく岩手県出身で人気声優の桑島法子の朗読と、春日井市に所縁のある音楽家たちによる生演奏を織り交ぜ、宮沢賢治の世界を舞台上で表現する。		
成 果	ShinziKatoh 氏の幻想的で優しいタッチの作品により、悲しい話の多い宮沢賢治の作品もポジティブに受け取れる世界観となった。また、桑島法子氏の多彩な朗読により作品への没入感を味わえた。演奏では、ピアノ、ヴァイオリン、パーカッションのトリオのほか、オカリナの生演奏で公演を彩った。トークコーナーでは、普段メディア露出の少ない ShinziKatoh 氏の愛嬌のある人柄が垣間見られた。		
備 考	主催／東部市民センター		

事業名	君島大空 独奏遠征春編 箱の歩き方		
ミッション	2 鑑賞－みせる		
日 時	4/22 (土) 17:00～19:00		
会 場	ギャラリー		
出 演	君島大空 (ギタリスト、シンガーソングライター)		
入場料等	4,000 円、学生の特券 (小中高生) 1,000 円 (10 名)		
入場者数	118 名	入 場 率	92.9%
		自主財源比率	81.0%
収 入	419,818 円	助 成 金	—
		支 出	518,118 円
事業内容	ギタリスト、シンガーソングライターとして注目を集める君島大空の、春日井市初の単独ソロ公演。確かな演奏技術と中性的な歌声で独特の世界観をもつ君島氏は、文化財団が最も集		

	客に苦戦している 20 代、30 代を中心に支持を集めている。音響効果に優れたギャラリーで開催することで、耳の肥えた音楽愛好家や若者を中心とした新規来場者の開拓を目指す。
成 果	チケットは前売券、当日券ともに完売となった。来場者アンケートには「会場の雰囲気がとても良く、君島さんの美しい音楽にピッタリ」「舞台が高くてよく見え、音響・照明もよかった」などの感想が寄せられた。また、「普段はライブハウスでしか観たことがなかったので公共施設での公演は新鮮だった」「ギャラリーが素敵だったのでまた施設を訪れたい」等の意見もあり、文化財団の活動や施設の魅力を PR することができた。
備 考	

事業名	演劇×自分史プロジェクト第 5 弾		
ミッション	1 創造一つくる		
日 時	1/28 (日) 14:00~15:30		
会 場	視聴覚ホール		
講 師	有門正太郎 (俳優・劇作家・演出家)		
入場料等	舞台公演 一般 1,000 円 (96 名)、学生の特券 (小中高生) 500 円 (44 名)		
参加者数	計 651 名	入 場 率	100%
		自主財源比率	51.4%
収 入	209,500 円	助 成 金	1,752,000 円
		支 出	3,815,514 円
事業内容	<p>演劇創作を通じて、市民とともに「自分史」の魅力を見出すプロジェクト。今年からは、若者と未来を見据えるプロジェクトとし、最終的には演劇公演を創り上げる。</p> <p>(1) 中学及び高校演劇部へのワークショップ</p> <p>① 6/10 (土) 9:30~12:00 知多中学校演劇部 参加者数 33 名</p> <p>② 6/10 (土) 14:00~16:30 中部中学校演劇部 参加者数 26 名</p> <p>③ 6/11 (日) 8:30~11:30 鷹来中学校演劇部 参加者数 21 名</p> <p>④ 6/30 (金) 16:30~19:30 春日井高校演劇部 参加者数 9 名</p> <p>⑤ 7/2 (日) 9:00~12:00 春日井東高校演劇部 参加者数 12 名</p> <p>⑥ 7/2 (日) 14:00~17:00 藤山台中学校創作部 参加者数 19 名</p> <p>⑦ 7/11 (火) 16:00~17:10 中部中学校演劇部 参加者数 26 名</p> <p>⑧ 7/12 (水) 16:00~17:10 春日井高校演劇部 参加者数 6 名</p> <p>アシスタント各 1 名</p> <p>(2) トークイベント「市民と共に作る演劇」のこと、話そう</p> <p>7/1 (土) 14:00~15:30 視聴覚ホール 参加料: 500 円 参加者数: 24 名</p> <p>ゲスト: 有門正太郎 (俳優・劇作家、演出家)、寺田剛史 (作家、舞台俳優)、吉松寛子 (北九州芸術劇場「Re:北九州の記憶」プロデューサー)</p> <p>(3) 【演劇×自分史】「公共」授業 実践 場所: 春日井高校</p> <p>① 7/11 (火) 13:25~14:15 2 年 3 組 参加者数 40 名</p> <p>14:25~15:15 2 年 4 組 参加者数 40 名</p> <p>② 7/12 (水) 13:25~14:15 2 年 4 組 参加者数 40 名</p> <p>14:25~15:15 2 年 3 組 参加者数 40 名</p> <p>アシスタント各 1 名、中部大学大学生 2 名</p>		

(4) 【演劇×自分史】ワークショップ

場所：視聴覚ホール、会議室、文化活動室、東部市民センター

① オーディション

11/2 (木)～4 (土) 参加者数延べ：50名

② 演劇を気軽に楽しみたい (ワークショップ及びエピソードヒアリング)

11/10 (金)～12 (日)、12/8 (金)～10 (日)、21 (木)～23 (土)

参加料：一般 5,000 円、U-25 2,000 円、高校生以下無料 参加者数：13名

③ 創作

1/10 (水)～14 (日)、18 (木)～21 (日)、23 (火)～27 (土)、3/22 (金)、
24 (日) 計 16 回

参加者数：16名 アシスタント：2名

④ 舞台公演「もうっかい！」

1/28 (日) 14:00 来場者数：205名

(5) 次年度に向けたワークショップ等

① アシスタント向け キックオフ説明会

3/21 (木) および 22 (金) 18:30～20:30 場所：視聴覚ホール

参加者数 8名

② 1日限りの体験ワークショップ

3/23 (土) 13:30～17:00 場所：東部市民センター 参加者数 8名

3/24 (日) 13:30～17:00 場所：会議室 参加者数 13名

参加料：500円

成 果

- (1) 夏大会に向けて、まずは演劇を楽しんでもらうワークショップを行った。子どもたちは、普段の部活では体験できない、発声方法や演技の仕方に感嘆の声をあげていた。部活の地域移行直前の実施となり、少しでも多くの中高生に参加してもらえる機会を作ることができた。
- (2) 他地域における、市民協業の演劇制作について知ること、今後、春日井での課題をみなで共有した。市民はもとより、劇場関係者も参加、自分たちの立ち位置を客観的にみる機会となった。
- (3) 春日井高校の「公共」の授業において、社会と自身の課題をつなげるための試みを行った。演劇の創作手法や視点の変換を共有しながら、「1,000万円があったら何に使いたいか?」「人に言えない小さな秘密」などの質問に答えてもらうことで、社会が実に細かい事柄から成り立っているのかを、知ってもらう機会を提供した。
- (4) 若者の「本気で役者を演じたい!」という要望に応じ、役者オーディションを経て創作を行うWSと、気軽に演劇を楽しみながら自分史を語るWSという2軸を打ち出し、創作に発展させた。「自分史」を共通項にして高齢者の回顧にも若者の癒しにもなり、どんなアイスブレイクよりも交流が深まった。演劇公演「もうっかい!」では中高生2チームと一般1チームが同じ台本を演じ、過去・現在・未来という三つの世界観を提示した。中高生があらん限りの力で「演じる」姿と、高齢者の「素の姿」のまま舞台に立つその妙が、客席から好評を得た。

(5) 来年度以降の布石のため、一日体験ワークショップを開催。また、後継者育成のため、アシスタント養成を兼ねた説明会を開催した。これまでにリーチできていなかった新しい参加者への門戸を開いた。

備考 助成／一般財団法人地域創造

事業名	昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会、スペシャルワンコインコンサート		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料（スペシャルワンコインコンサートのみ 500 円）		
入場者数	計 4,533 名	入場率	自主財源比率 53.1%
収入	215,300 円	寄附金 433,617 円	支出 1,222,933 円
事業内容	<p>《昼コン&夜コン》</p> <p>2004年に始まった本公演は、今年度19年目に入った。「1時間」「無料」「トーク付き」の気軽にクラシック音楽等を親しむことが出来るコンサート。今年度も春日井市に所縁のある演奏家を中心に、クラシックにとどまらない幅広いジャンルの音楽をラインナップした。</p> <p>(1) 4/15 (土) 14:00~15:00 第277回「春のモーツァルト祭り」 入場者数：276名 寄附金額：27,647円 出演：五島史誉（ピアノ）、平光真弥、山崎えりか（ヴァイオリン）、 新谷歌（ヴィオラ）、幸田有哉（チェロ）、酒井敬彰（コントラバス）</p> <p>(2) 5/12 (金) 19:00~20:00 第278回「ラフマニノフ生誕150周年」 入場者数：236名 寄附金額：39,298円 出演：秀平雄二、蒔田裕也（ピアノ） ※1 自主文化事業の（2）美術系事業「新進作家支援事業 山田雅哉『エチカ』」の 画家 山田雅哉がミニトークにゲスト参加</p> <p>(3) 5/20 (土) 14:00~15:00 第279回「弦の響きは新緑に爽やか」 入場者数：210名 寄附金額：26,590円 出演：加藤志麻（チェロ）、白井英峻（ヴィオラ）、中村真帆、牧野葵（ヴァイオリン）</p> <p>(4) 6/9 (金) 19:00~20:00 第280回「オカリナ響き渡る初夏の夕べ」 入場者数：172名 寄附金額：24,603円 出演：西村麻衣子（オカリナ）、放生會華子（ピアノ）</p> <p>(5) 6/24 (土) 14:00~15:00 第281回「怒涛のピアノ名曲づくし60分勝負」 入場者数：330名 寄附金額：37,347円</p> <p>(6) 7/7 (金) 19:00~20:00 第282回「七夕に聴く幽玄の調べ」 入場者数：276名 寄附金額：57,703円 出演：雅楽団体 主韻会 柴垣治樹（会主／鞆鼓・舞人）ほか総勢19名</p>		

- (7) 9/9 (土) 14:00～15:00
第283回「秋めく香りにメロディをのせて」入場者数 325名 寄附金額 43,461円
出演：清水麗楽、谷口沙和（ヴァイオリン）、小山日向美（ヴィオラ）、
貫名紗詠（チェロ）、亀居優斗（クラリネット）※賛助
- (8) 9/29 (金) 19:00～20:00
第284回「ジャズとクラシックの交差点」入場者数：228名 寄附金額：28,280円
出演：平光真弥（ヴァイオリン）、平光広太郎（ピアノ）
- (9) 10/14 (土) 14:00～15:00
第285回「バレエ音楽の世界」入場者数：220名 寄附金額：24,647円
出演：築瀬彩（ヴァイオリン）、川添由梨香（ピアノ）
- (10) 11/11 (土) 14:00～15:00
第286回「秋を味わう日本のうた」入場者数：316名 寄附金額：34,416円
出演：伊藤舞子（ソプラノ）、近藤加奈子（メゾソプラノ）
片山博貴（テノール）、重左竜二（バリトン）、池原陽子（ピアノ）
- (11) 12/8 (金) 19:00～20:00
第287回「冬の夜空にきらめく音の粒」入場者数：221名 寄附金額：40,593円
出演：大澤愛衣子（ヴァイオリン）、三谷野絵（チェロ）、柴垣健一（ピアノ）

《親子のためのはじめての音楽会》

1回の公演が小さな子どもでも見やすい30分の親子向けのコンサート。出演は若手音楽家支援事業登録アーティストのほか、子ども向けのコンサート企画に長けたアーティストを外部から招く。

- (1) 5/11 (木) ①10:00～10:30 ②11:00～11:30
第10回「0歳から100歳まで、みんな笑顔に！」
入場者数：331名 寄附金額：6,910円
出演：クピパ・トリオ（岡林和歌（クラリネット）、白神由美子（ピアノ）、美郷（パーカッション））
- (2) 9/15 (金) ①10:00～10:30 ②11:00～11:30
第11回「みて、きいて、いっしょにはじめての音楽！」
入場者数 374名 寄附金額 8,637円
出演：トリオ・ピアンカ※若手音楽家支援事業第4期登録
安宅真平（サクソフォン）、稲垣七海（ユーフォニアム）、松本成美（ピアノ）
※賛助出演：鈴木豊大（Jumble Quartet）
- (3) 3/15 (金) 10:00～10:30 ②11:00～11:30
第12回「子どもから大人まで楽しい音楽のひとつときを！」入場者数 518名
寄附金額 11,213円
出演：ルピナス※若手音楽家支援事業 第4期登録
神戸結花（フルート）、松原未弥（フルート）、佐々木唯道（ピアノ）
中根明日香（ソプラノ）※賛助（トリオ・エンシャント）

	<p>《スペシャル・ワンコイン・コンサート》 「ギター・ノスタルジア なつかしの名曲」 3/20 (水・祝) 13:30~14:45 会場：市民会館 入場者数：500名 寄付金額：22,272円 出演：井草聖二 (ギター)</p>
成 果	<p>《昼コン&夜コン》 春日井市に所縁のある演奏家を中心に起用し、演奏内容の質の向上とバラエティの幅の拡充を図った結果、総入場者数は昨年を1,318名上回った。5月のラフマニノフのピアノ協奏曲の全曲演奏や7月の雅楽公演では平均値を大幅に上回る寄附が寄せられた。</p> <p>《親子のためのはじめての音楽会》 年2回から3回に増やしたが、毎回昨年度を上回る来場者数となり、市民のニーズの高さが示された。</p> <p>《スペシャル・ワンコイン・コンサート》 平日の夜から祝日の昼に時間帯が変わったことにより来場者の世代の幅が広がり、特に子どもの来場者が増加した。アンケートでは、「ワンコイン」という気軽さに惹かれて来場したという声もあった。</p>
備 考	

事業名	若手音楽家支援事業		
ミッション	6 人材育成ーはぐくむー		
入場料等	インリーチ・コンサート「おいでよ・アート・ドア」 1,000円、学生の特券 (小中高生) 500円 (21名) (以下は当該コンサートのもの)		
入場者数	計143名 [再掲]	入場率 67.5%	自主財源比率 174.6%
収 入	44,548円	助成金 529,000円	支 出 328,581円
事業内容	<p>公募によって選ばれた若手音楽家グループが、3年間の活動期間の中で「かすがいどこでもアート・ドア」「昼コン&夜コン、親子のためのはじめての音楽会」などで場数を踏み、様々な場所に対応できる柔軟性、その場の聴衆に合わせて最適な演奏を提供できる対応力を身につけることを目的とする。従来は「自主コンサートを開催すること」が目標であったが、今年度からはより大きな視野に立ち、「春日井の街の音楽家」となることを目指す。今年度は、第3期3団体、第4期2団体の登録アーティストが以下の活動を行った。また第3期が今年度で活動を修了するにあたり、次の第5期を公募、採用した。</p> <p>【第3期登録アーティスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Jumble Quartet 國領さおり (サクソフォン)、山部里恵 (ヴァイオリン) 鈴木豊大 (パーカッション)、犬飼裕哉 (ピアノ) ・FUN 波多野江莉 (ユーフォニアム)、左合栞 (パーカッション)、河原翌真 (ピアノ) ・トリオ・エンシャント 中根明日香 (ソプラノ)、西尾結花 (ヴァイオリン)、福田結衣 (ピアノ) 		

【第4期登録アーティスト】

・トリオ・ビアンカ

安宅真平（サクソフォン）、稲垣七海（ユーフォニアム）、松本成美（ピアノ）

・ルピナス

神戸結花（フルート）、松原未弥（フルート）、佐々木唯道（ピアノ）

今年度の活動

(1) 「かすがいどこでもアート・ドア」派遣 21回 [再掲]

(2) 「親子のためのはじめての音楽会」出演 1回 [再掲]

(3) インリーチ・コンサート「おいでよアート・ドア」公演 2回 [再掲]

従来の「ワンコイン・コンサート」を発展させた公演企画。ギャラリーを会場とし、第3期登録アーティストのうち2団体が有料公演として披露。

9/1（金）19:00～20:30 トリオ・エンシャント 入場者数：62名

9/2（土）14:00～15:30 Jumble Quartet 入場者数：73名

(4) 「アウトリーチ研修会」2回

第3期登録アーティスト各グループの代表者と財団職員が、第4期登録の幼児向けのプログラムの上演に立ち合い、アドバイスや意見交換を行う。

4/26（水）受講者：ルピナス アドバイザー：鈴木、中根、波多野

4/27（木）受講者：トリオ・ビアンカ アドバイザー：鈴木、中根、波多野

第5期登録アーティストの中から選抜された3名が、幼児向けプログラムを上演。

これに対して、第3期の2名と外部講師がアドバイスする形で行われた。

3/8（金）受講者：第5期内定者3名 第4期全員

アドバイザー：鈴木、波多野 外部講師：高橋洋子（NPOたけとよ）

(5) 演奏依頼の紹介（派遣先自費負担型 アート・ドア）4回 [再掲]

財団が市内各所からの演奏者紹介の依頼を受け、登録アーティストを派遣するもの。演奏の報酬は各派遣先からアーティストに支払われる。

(6) 次期登録アーティストの公募・採用

令和6年4月より3年間活動する第5期登録アーティストを公募した。

一次選考：書類・動画審査、二次選考：実技・面接審査（12/5、12/7に実施）

応募12名、採用5名

成 果

インリーチ・コンサート「おいでよ・アート・ドア」は、いずれもギャラリーの可動壁をコンサート仕様にレイアウトし、良好な音響と客席との距離の近さを得た。3年間の活動の締めくくりに相応しいコンサートとなったが、集客については今後の課題を残した。

「アート・ドア」は、従来よりも早いペースで多様な派遣先に出向いて演奏を届けた。リハーサルや振り返りには財団職員が積極的に関わり、パフォーマンスの向上につなげた。

今年度は「昼コン&夜コン」への出演はなかったが、親子音楽会では第4期登録アーティストに第3期のメンバーが賛助出演し、登録アーティスト同士がグループの垣根を超えてともに成長するとともに、演奏内容も充実し、二つの効果を上げることが出来た。

備 考

寄附金/597,789円（特定寄附金に積立）

助成/文化庁文化振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

事業名	かすがい日曜シネマ		
ミッション	2 鑑賞一みせる		
会場	視聴覚ホール、東部市民センター		
入場料等	前売 800 円、当日 1,000 円、学生の特券（小中高生）500 円（28 名）		
入場者数	計 2,609 名	入場率 79.9%	自主財源比率 122%
収入	2,085,090 円	助成金 —	支出 1,708,691 円
事業内容	<p>舞台芸術や音楽等をテーマとした良質なミニ・シアター系の映画を上映。上映前には職員によるミニ・トークを実施し、市内ボランティア団体による音声ガイドも利用できる。</p> <p>(1) 第 93 回「オードリー・ヘプバーン」 5/21（日）視聴覚ホール①127 名、②138 名 5/28（日）東部市民センター268 名</p> <p>(2) 第 94 回「君を想い、バスに乗る」 7/9（日）東部市民センター277 名 7/16（日）視聴覚ホール①127 名、②129 名</p> <p>(3) 第 95 回「スーパー30 アーナンド先生の教室」 9/10（日）東部市民センター149 名 9/24（日）視聴覚ホール①98 名、②89 名</p> <p>(4) 第 96 回「銀河鉄道の父」 11/26（日）視聴覚ホール①130 名、②132 名 12/17（日）東部市民センター387 名（通常満席 366 席のところ 402 席へ）</p> <p>(5) 第 97 回「テノール！人生はハーモニー」 2/18（日）視聴覚ホール①128 名、②128 名 3/3（日）東部市民センター302 名</p> <p>視聴覚ホールは、①10:15～、②13:30～（②は音声ガイド付き上映） 東部市民センターは、13:30～（音声ガイド付き上映）</p>		
成果	作品選定やミニトークが好評で、東部地区での上映会も定着してきた。当日の来場者だけが申し込める次回作チケットの先行発売も好評で、中には次回作の予告編を見る前にチケットを購入するリピーターもいた。「良い映画が見られる」という信頼を獲得できている。		
備考	共催／春日井市東部市民センター 協力／ボイスケイン、ボイスさくら		

事業名	在日外国人のための 桂かい枝のやさしい日本語落語		
ミッション	4 地域コミュニティ形成一つながる		
日時	11/12（日）10:30～11:30		
会場	会議室		
出演	桂かい枝		
入場料等	500 円		
入場者数	30 名	入場率 41%	自主財源比率 1,078.7%
収入	100,000 円	助成金 —	支出 9,270 円
事業内容	<p>伝統的な話芸である落語を「やさしい日本語」を用いて公演し、在日外国人の方には日本のユーモアを届けるとともに、地域の日本人住民の方には「やさしい日本語」の存在を知ってもらう。日本語を母国語としない方々にも分かりやすい日本語を用いた落語を観て、地域コミュニティのゆるやかな繋がりをつくる。</p>		

成 果	日本語スピーチコンテストの主催をしているサポート団体に事業の告知依頼をしたり、外国人が経営している店舗や学校などにチラシ送付やメール周知をした。その結果、中国、ベトナム、フィリピンにルーツをもつ来場者が7名程度来場した。高座に上がって小唄を披露するコーナーで盛り上がるなど、和やかな雰囲気の中で日本の伝統文化に触れてもらった。
備 考	助成／文化庁文化芸術振興費補助金（統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業（アートキャラバン2）） 事業名／JAPAN LIVE YELL project

事業名	生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 全国ツアー		
日 時	①4/8（土）15:00～17:30 三原市芸術文化センターポポロ		
会 場	②8/12（土）・13（日）15:00～17:30 兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール		
	③1/20（土）14:00～16:00 幸田町民会館さくらホール（ピアノ版）		
出 演	茂木大輔（①②指揮）	岡田奏（①ピアノ）	佐川和冴（①ピアノ）
	裴紗蘭（①オーボエ）	石井琢磨（②ピアノ）	高木凜々子（②ヴァイオリン）
	池田昭子（②オーボエ）	河村幹子（②ファゴット）	広島交響楽団（①）
	関西フィルハーモニー管弦楽団（②）	高橋多佳子（③ピアノ）	
入場料等	—		
入場者数	オーケストラ版4,866名 ピアノ版 541名	入 場 率 —	自主財源比率 2,096%
収 入	415,000円	助 成 金 —	支 出 19,800円
事業内容	平成18年から続く、春日井発「のだめ音楽会」の全国ツアー。舞台監督、映像作成・オペレータを当財団職員が行い、演奏は各地元のオーケストラを起用している。これまでにオーケストラ版117公演、ピアノ版21公演、室内楽版2公演を開催し、延べ174,314名を動員している（春日井公演含む）。		
成 果	三原公演は初開催だったが、多くの観客が訪れ、オーケストラの演奏を楽しんだ。西宮公演は、名曲ばかりを集めたベスト版的な公演となったこともあり、2日間ともに完売となる大盛況であった。幸田町民会館は今まで何度も高橋さんのコンサートを開催していたが、今回初めて来られた方も多く、新規のお客様に来ていただけたと手ごたえを感じられていた。		
備 考	オーケストラ版 企画／茂木大輔、公益財団法人かすがい市民文化財団 ピアノ版 企画／高橋多佳子、公益財団法人かすがい市民文化財団、 制作協力／サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター）		

事業名	財団サポーター2023		
ミッション	4 地域コミュニティ形成—つながる		
参加者数	計33名	入 場 率 —	自主財源比率 3.9%
収 入	5,000円	助 成 金 —	支 出 127,396円

事業内容	来場者をもてなすボランティアとして、当財団の自主文化事業に参加する。また、当財団の良き理解者・支援者を増やしていく側面もある。
実績	上半期活動公演数 32 回、展覧会数 1 回、研修 4 回 登録者数：33 名
成果	今年度から、新規登録者の募集やおでかけ研修を再開した。今年度で継続年数 20 年の登録者もあり、お客様から「いつも温かい雰囲気を出迎えてくれる」と好評を得ている。また登録者からは「お客様の笑顔が嬉しい」「活動が有意義な時間になっている」というの声もあり、社会参加の場としての役割も果たした。
備考	今年度新規登録者：6 名

(4) アウトリーチ事業

事業名	かすがいどこでもアート・ドア（美術系）		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる 4 地域コミュニティ形成一つながる		
入場料等	なし		
受講者数	168 名	入場率	—
		自主財源比率	—
収入	—	助成金	—
		支出	151,028 円
事業内容	<p>指導が難しいとされる読書感想画、造形あそびの出前授業を試験的に実施した。</p> <p>(1) 鷹来小学校 読書感想画指導「ことばから形・色」</p> <p>①下書き指導 9/14 (木) 10:40～12:15</p> <p>②着彩指導 9/28 (木) 13:45～15:20</p> <p>参加者：3年1組・3年2組 計38名</p> <p>講師：林幸秀（造形作家／エデュケーションアドバイザー） 山田雅哉（画家）</p> <p>(2) 松山小学校 読書感想画指導「ことばから形・色」</p> <p>①下書き指導 10/2 (月) 10:50～12:25</p> <p>②着彩指導 10/16 (月) 10:50～12:25</p> <p>参加者：3年4組 27名</p> <p>講師：林幸秀（造形作家／エデュケーションアドバイザー） 山田雅哉（画家）※10/16のみ</p> <p>(3) 鷹来小学校 造形あそび指導「ひもひもワールド」</p> <p>11/13 (月) 10:40～12:15</p> <p>参加者：3年1組・3年2組 38名</p> <p>講師：林幸秀（造形作家／エデュケーションアドバイザー） 山田雅哉（画家）、安藤シオン（イラストレーター）</p>		
成果	学校側の希望に沿って、指導案作成の段階から手厚く授業をサポートした。教員の悩みを解消しながら、児童にプロの指導を提供することができた。数時間の指導で児童の創作意欲や表現力がみるみる向上し、十分な成果をあげられた。		
備考			

事業名	かすがいどこでもアート・ドア（実演芸術系）		
ミッション	3 普及啓発一ひろがる		
会場	春日井市内各所（幼稚園・保育園・小学校・福祉施設・公民館等）		
入場料等	1,500円、学生の特券（小中高生）500円（14名）（3/10分）		
参加者数	計5,354名	入場率	— 自主財源比率 9.0%
収入	192,400円（3/10分）	助成金	— 支出 2,136,717円
事業内容	<p>日頃、舞台芸術に接する機会が少ない子どもたちや、劇場に足を運ぶことが難しい高齢者を対象として、文化・芸術に触れる体験を届ける事業。音楽や伝統芸能のアーティストを市内各所に派遣し、「文化芸術の良き理解者」を育てるとともに、文化芸術を通じて教育の充実や、地域のつながりの活性化を図る。また、派遣先の方々だけではなく、幅広い方々にコンサート形式で楽しんでいただく機会として、今年度より「インリーチ・コンサート おいでよアート・ドア」を開始した。</p> <p>《どこでもアート・ドア》</p> <p>(1) 音楽/Jumble Quartet ※若手音楽家支援第3期登録 6/15（木）春日井市立山王小学校 498名 9/5（火）第二ひばり幼稚園 160名 11/17（金）春日井市立高森台小学校 246名 2/21（水）愛知県立春日台特別支援学校 85名</p> <p>(2) 音楽/FUN ※若手音楽家支援第3期登録 6/29（木）春日井市立篠原小学校 218名 9/27（水）春日井市立尾東小・中学校 40名 10/26（木）春日井市立味美保育園 120名 12/6（水）八田東長寿会「コーヒーサロン」（八田老人憩の家）41名</p> <p>(3) 音楽/トリオ・エンシャント ※若手音楽家支援第3期登録 5/24（水）株式会社エスライフ（グループホームあいゆう）80名 7/10（月）岩成台西華の樹会（水辺老人憩の家）56名 8/7（月）内津の森デイサービスセンター70名 9/17（日）鳥居松地区社会福祉協議会（レディヤン音楽室）70名</p> <p>(4) 音楽/トリオ・ピアンカ ※若手音楽家支援第4期登録 5/16（火）春日井市立桃山保育園 90名 6/2（金）春日井市立第三保育園 212名 11/16（木）春日井市立白山保育園 120名 11/26（日）押沢台コミュニティネットワーク（押沢公園集会所）40名 1/16（火）石筍会（緑ヶ丘老人憩の家）35名</p> <p>(5) 音楽/ルピナス ※若手音楽家支援第4期登録 6/21（水）春日井市立西部保育園 164名 7/19（水）春日井市立柏原西保育園 230名 10/25（水）春日井市立外之原保育園 30名 12/20（水）春日井市立第二保育園 99名</p>		

- (6) 音楽/Cool MensLa (弦楽三重奏)
 5/30 (火) 春日井市立松山小学校 394 名
 1/25 (木) 春日井市立春日井小学校 111 名
- (7) 音楽/瀬木理央 (ヴァイオリン)、内匠慧 (ピアノ)
 5/17 (水) 春日井市立上条小学校 110 名
- (8) 音楽/瀬木理央 (ヴァイオリン)、百瀬愛莉 (ピアノ)
 6/5 (月) 春日井市立西山小学校 78 名
 10/4 (水) 春日井市立岩成台西小学校 200 名
 10/5 (木) 春日井市立鷹来小学校 49 名
- (9) 音楽/佐古健一 (チェロ)、原田綾子 (ピアノ)
 6/14 (水) 春日井市立松原小学校 79 名
 9/7 (木) 春日井市立東高森台小学校 134 名
 9/8 (金) 春日井市立小野小学校 163 名
- (10) 音楽/山際奈津香 (チェロ)、原田綾子 (ピアノ)
 9/25 (月) 春日井市立丸田小学校 80 名
 9/26 (火) 春日井市立押沢台小学校 70 名
- (11) 伝統芸能/なるみ家笑天 (社会人落語家)
 6/22 (木) 出川町北高砂会 (出川町公民館) 44 名
 9/12 (火) 町屋友の会 (町屋ふれあいの家) 40 名
 1/20 (土) 月見町町内会 (月見町公会堂) 23 名
- (12) 音楽/倉橋祐佳里 (ピアノ)、徳田真侑 (ヴァイオリン)、三吉彩生 (ファゴット)
 ※アウトリーチ・ラボからの派遣
 10/17 (火) 春日井市立西尾小学校 70 名
- (13) 伝統芸能/藤間勘揚・勘之介 (日本舞踊)
 12/9 (土) 松本区自治会 (松本公民館) 50 名
 1/11 (木) 春日井市立坂下北保育園 49 名
 2/9 (金) たんぼぼの会 (総合福祉センター和室) 35 名
- (14) 井草聖二 (ギター)
 3/19 (火) 春日井市立南城中学校 557 名
- (15) 音楽/神永大輔 (尺八)、中村大史 (ギター)
 10/23 (月) 春日井市適応指導教室あすなろ 30 名

《インリーチコンサート おいでよアート・ドア》

会場：文化フォーラム春日井・ギャラリー

- (1) 9/1 (金) トリオ・エンシャント 62 名 (うち学生の特券 (小中高生) 7 名)
- (2) 9/2 (土) Jumble Quartet 73 名 (うち学生の特券 (小中高生) 14 名)
- (3) 3/10 (日) 瀬木理央 (ヴァイオリン)、佐古健一 (チェロ)、原田綾子 (ピアノ)
 149 名 (うち学生の特券 (小中高生) 14 名)

	<p>《紹介派遣》</p> <p>(1) 9/30 (土) 春日井市立坂下小学校 150周年記念式典 / FUN</p> <p>(2) 10/22 (日) 高蔵寺まちづくり株式会社 (グループふじとう児童館)、10/23 (月) 中部大学春日丘中学校 / 神永大輔 (尺八)、中村大史 (ギター)</p> <p>(3) 11/2 (木) 春日井市立藤山台中学校 / 藤間勘楊、藤間勘之介 (日本舞踊)</p> <p>(4) 11/11 (土) 岩成台西地区社会福祉協議会 (岩成台西小体育館) / トリオ・エンシャント</p> <p>(5) 1/4 (木) 春日井市新年名刺交換会 (市民会館) / 波多野江莉 (ユーフォニアム)、西尾結花 (ヴァイオリン)、松本成美 (ピアノ)</p> <p>(6) 1/21 (日) 南部ふれあいセンター ふれあいコンサート / 神戸結花、松原未弥 (フルート)、安宅真平 (サクソフォン)、稲垣七海 (ユーフォニアム)、松本成美 (ピアノ)</p>
成 果	<p>どこでもアートドアは41カ所で実施し、参加者は合計で5,070名となった。特に昨年と比べて小学校での授業型アート・ドア (スクール・アート・ドア) の回数が増え、事後のアンケートでは現場の教員から「普段の授業では経験できないような充実した体験を子供に与えることができた」という好意的な意見が複数寄せられた。また、新たに若手音楽家支援事業登録アーティストとして活動を開始した第4期の2グループが保育園・幼稚園を中心に訪問し、乳幼児向けのプログラムの開発に取り組んだ。</p> <p>今年度初めての取り組みとなった「おいでよ アート・ドア」は、小学校で実際に行っている楽器の解説などを含めたプログラムに対し、「こんな素敵な授業を受けられる小学生がうらやましい」という感想が多くみられ、好評であった。</p>
備 考	

(5) 施設サービス系事業

事業名	スタインウェイピアノ開放します!		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる		
日 時	5/3 (水・祝) 12:30~17:15、4 (木・祝)、5 (金・祝) 8:45~17:15 8/15 (火) ※中止延期、16 (水) 8:45~21:00 10/3 (火) 12:30~21:00、4 (水) 8:45~21:00 1/20 (土) 17:30~21:00、21 (日) 8:45~18:30 ・1枠1団体60分		
会 場	市民会館		
参加者	公募による抽選で選ばれた人		
入場料等	利用料1,000円、録音サービス料500円		
参加者数	計51組163名	入 場 率	— 自主財源率 46.7%
収 入	58,500円	助 成 金	— 支 出 125,008円
事業内容	市民会館のホールを貸し切り、スタインウェイピアノを1時間自由に弾ける企画。毎年好評をいただいております、今年度は5月、8月、10月、1月に開催した。8/15は台風接近に伴う暴風警報発令により中止となったため、1月の回を振替開催とした。		

成 果	1 回目の 5 月には 62 組の応募、2 回目の 8 月には 49 組の応募、3 回目の 10 月には 69 組の応募、4 回目の 1 月には振替開催対象者を含め 11 組の応募があり、計 51 組の家族やグループが、発表会の練習やプライベートコンサートなど、思い思いの時間を過ごした。8 月以降、仕事や学校帰りの方が参加しやすいよう夜間枠を増設し、参加者から喜ばれた。
備 考	

事業名	舞台制作セミナー		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
受講料等	無料		
受講者数	35 名	入 場 率	—
			自主財源比率 —
収 入	—	助 成 金	—
			支 出 —
事業内容	<p>市内高校の演劇部と吹奏楽部を対象に、照明・音響・舞台技術・演出方法等の基礎知識を伝えるセミナー。演劇版では、演出家の有門正太郎氏を講師に招き、春日井高校及び春日井東高校の演劇部を対象に演出方法や演技の指導を行った。また、当財団のテクニカルディレクターが春日井高校演劇部の製作場へ赴き、大道具の基本的な作り方やコツを指導した。吹奏楽版では、それぞれの定期演奏会で活用できる会館設備や演出方法について、実際に機材に触れながら指導した。</p> <p>(1) 演劇版</p> <p>講師：有門正太郎（俳優・劇作家・演出家）</p> <p>①「演出・演技指導」[再掲]</p> <p>6/30(金)16:30-19:30 会場：視聴覚ホール</p> <p>受講者数：9名（春日井高校演劇部）</p> <p>②「舞台技術指導」</p> <p>6/30(金)16:30-19:30 会場：春日井高校・演劇部部室</p> <p>受講者数：9名（春日井高校演劇部）</p> <p>③「演出・演技指導」[再掲]</p> <p>7/2(日)9:00~12:00 会場：春日井東高校・武道場</p> <p>受講者数：19名（春日井高校演劇部）</p> <p>(2) 吹奏楽版</p> <p>1/5(金)13:30~15:00 会場：市民会館</p> <p>受講者数：26名（春日井西高校、高蔵寺高校、春日井高校、春日井南高校）</p>		
成 果	<p>演劇版では、演劇部の先輩から脈々と受け継がれてきた基本練習や演出方法に対し、プロの演出家が実践的な指導・助言を行ったことで大いに刺激を受け、演劇の楽しさを改めて認識したようだった。また裏方担当の学生の悩みや質問には、財団職員が学校の製作現場で答えることで、よりの確な指導をすることができた。</p> <p>吹奏楽版では、照明音響の演出方法をデモンストレーションも交えて紹介し、実際に機材に触れながら操作指導を行ったことで、実際の定期演奏会でも素晴らしい演出を見ることができた。</p>		
備 考			

事業名	【共催】第31回春日井市高等学校吹奏楽フェスティバル		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日時	12/24（日）14:00～16:30		
会場	市民会館		
出演	春日井高校、春日井西高校、春日井南高校、春日井東高校、春日井泉高校、高蔵寺高校、中部大学春日丘高校 各吹奏楽部		
入場料等	無料		
入場者数	822名	入場率	—
収入	—	助成金	—
自主財源比率	—		
支出	—		
事業内容	春日井市内7高校の吹奏楽部が一堂に会し、学校の垣根を越えてステージに上がり熱演を繰り広げる、全国的にも珍しい演奏会。本番はステージマーチング、シンフォニックステージ、ポップスステージの3部構成でされ、4年ぶりとなる全員合奏のアンコールも行い、会場を大いに沸かせた。		
成果	各高校の生徒から選出された「吹奏楽フェスティバル実行委員会」が主体となり、職員のレクチャーのもと学校紹介やアンコールの企画構成、チラシやアンケートの作成を行った。チラシ作成では、手に取る方へのアプローチを考えながら本公演の特徴をとらえたチラシを作成することができ、幅広い年齢層の集客を得ることができた。公演当日は実行委員の企画した2分間CMやアンコール合奏もスムーズに行え、生徒たちの熱の入った演奏に客席は大盛況であった。		
備考	主催/春日井市高等学校吹奏楽協議会（幹事校：中部大学春日丘高校）		

事業名	アトリウム音楽祭		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
会場	交流アトリウム		
入場料等	無料、参加料は運営協力費として1団体5,000円		
入場者数	計2,104名	入場率	—
収入	155,000円	助成金	—
自主財源比率	87.6%		
支出	176,960円		
事業内容	<p>市民参加型の音楽発表会。市内外で活躍しているアマチュア音楽団体が日頃の成果を発表。</p> <p>(1) [秋] 9/16（土）10:00～17:45 17（日）11:00～17:45 出演団体15組（187名）、入場者数851名 琴古流尺八長月会、ライリッシュ春日井オカリナクラブ、公益社団法人関西吟詩文化協会公認鷺伸吟詠会東尾張支部、春日井ギターオーケストラ、高蔵寺混声合唱団、Màlacarte、風の四重奏エオリカ、ムジカアーツ、陽まり、アンサンブルルーチェム、インド舞踊トリダーラ、スタジオ・アジラ、ウクレレユニット・レインボーガーデン、春日井市能楽連盟、中部大学混声合唱団</p> <p>(2) [春] 3/16（土）、3/17（日）10:00～17:45 出演者16団体（313名）、入場者数1253名 ポーアコルウクレレ&マハロフラスーカル、シロクマカルテット、レアレアマカマ</p>		

	カ、Kahawainani Hula Halau、春日井男声合唱団、コーラスグループさくら、プレジール・アコ、マカナニフラススタジオ、ハーラウ・ワア・カウルア・ハアリ・マオヒ、あんじゅママコーラス&シャルール、ManaTaiUra、ハーラウ・カピィアマカリィ、Hui' OKamaleiKāpiki、PuananiAloha、合唱団ピンクエコー、hoalimiHula
成 果	合唱やオカリナ、尺八の演奏団体など、和洋問わず様々な音楽団体が舞台に立った。音響や司会進行など技術的な部分を財団が全てサポートすることで、出演団体は演奏に専念することができ、日頃の成果を余すことなく発表した。LED ビジョンに投影する映像や動画を独自に用意する団体もあり、舞台演出にも工夫が施された。
備 考	

事業名	【共催】 かすがい人形劇フェスティバル 2023		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/17（日）25th かすがい人形劇フェスティバル ①10：00～11：50（122名入場）②14：00～15：40（103名入場） ③12：00～13：50（作って遊ぼうコーナー、計173名参加）		
会 場	視聴覚ホール、交流アトリウム（作って遊ぼうコーナー）		
出 演	①人形劇団よるずや〇、人形劇団じゃんけんぼん、マーガレット一家りさちゃん、人形劇団パン ②人形劇団とんとんとん、マーガレット一家たっちゃん、おしゃべり劇場ぽっけ、人形劇団むすび座 ③くれよんの会		
入場料等	①②前売おとな1,200円、こども700円、当日おとな1,400円、こども900円 ③無料		
入場者数	計398名	入 場 率	—
収 入	—	助 成 金	—
事業内容	市内外のアマチュア及びプロ人形劇団が混合で公演を行った。今回は開催25回を記念して、来場者全員に折り紙の「おしゃべりからず」を配布した。また、午前午後の合間には交流アトリウムで自由に参加できる折り紙の体験会を行った。その他、公演までの1か月間、出演団体の所有している人形を交流アトリウムで展示した。		
成 果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、近年は間隔を取ったイス席のみとされていたが、今年よりマット席を復活させたことで、子どもたちはより近くで人形劇を楽しむことができた。「作って遊ぼうコーナー」もコロナ渦にあった参加制限をなくしたことで、前年の2倍以上の参加者数となった。		
備 考	主催/愛知県人形劇協会、かすがい人形劇フェスティバル実行委員会		

事業名	【共催】 とっておきのクリスマスコンサート		
ミッション	5 活動支援—ささえる		
日 時	12/24（日）17：30～19：00		
会 場	交流アトリウム		
参加者	春日井児童合唱団		
入場料等	無料		

入場者数	308名	入場率	—	自主財源率	—
収入	—	助成金	—	支出	14,960円
事業内容	春日井児童合唱団による毎年恒例のクリスマスコンサート。ジュニア、シニアに加え、成人した合唱団OB・OGも参加し、クリスマスソングを歌う。				
成果	新型コロナウイルス感染拡大対策に伴う入場制限がなくなり、出演関係者だけではなく、通りすがりの方などが気軽にクリスマスの雰囲気を楽しむことができることから、昨年と比較し80名程度入場者数が増加した。子供たちの美しい歌声がアトリウムに響き、クリスマスの温かな時間を演出することができた。				
備考	主催／春日井児童合唱団				

事業名	クリスマスワークショップ「ステンドグラス風ランタンをつくろう！」				
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる				
日時	11/26（日）①13:30～14:30 ②15:00～16:00				
会場	文化活動室				
入場料等	ワークショップ参加費 500円/組				
入場者数	19名	入場率	95%	自主財源比率	19.6%
収入	9,500円	助成金	—	支出	48,520円
事業内容	ガラス造形作家の田口友里衣氏を講師に迎え、クリスマスに向けた全年齢対象のワークショップを実施した。参加者はステンドグラス風のランタンを2種類作り、一つは参加者が持ち帰り、もう一つは文芸館4階・スカイフォーラムで約1ヶ月間展示した。				
成果	年齢制限をなくしたことで幅広い年代が参加し、個性豊かなランタンが制作された。完成したランタンは、スカイフォーラムに期間限定で設置したクリスマスツリー型のオブジェに飾られ、クリスマスシーズンに合わせたイルミネーションとして賑わいを呼んだ。				
関連企画	ワークショップ参加者作品展示 スカイフォーラム 12/1（金）～12/24（日）9:00～20:00				
備考					

(6) 広報系事業

事業名	広報宣伝・情報発信事業				
収入	12,000円	支出	6,733,261円	自主財源比率	0.2%
事業内容	自主事業を中心とした文化芸術情報及び施設に関する情報を誌面、HP、SNSや映像等の自社媒体で広く発信した。また、より多くの市民に当財団の活動を知っていただくために、マスコミをはじめとした外部機関と連携し、PRを行った。				
実績	<p>(1) 広報誌「FORUM PRESS」発行 4月・7月・10月・1月（4回）、各7,000部</p> <p>《配布状況》県内 349 施設、県外 129 施設に配布</p> <p>《FORUM PRESS レポーター》登録人数 11 名、活動公演数 25 回、研修等 1 回、参加人数延べ 47 名、誌面掲載記事 4 本、HP 掲載記事 35 本</p>				

	<p>(2) HP 運営 サイトリニューアル</p> <p>(3) SNS 運営 X フォロワー数 1,559 名、LINE お友だち人数 1,386 名 年度末にInstagram、note のアカウントを新規で開設。</p> <p>(4) 《記事掲載》中日新聞・本誌 93 回、中日新聞・関連誌 3 回、中日新聞・販売店誌 1 回、ケーブルテレビ 4 回、雑誌タウン誌 32 回、Web 5 回、テレビ 1 回</p>
成 果	<p>(1) 公演の告知記事を中心に、「かすがい どこでもアート・ドア」や「自分史事業」をはじめ、当財団の取り組みを幅広く紹介することができた。レポーターも回数を重ねるごとに、順調に文章能力が向上している。</p> <p>(2) 「施設案内」ページのリニューアルによって、来館者と貸館利用者がそれぞれのニーズに合った情報にアクセスしやすくした。その他、フロアガイドには 360 度カメラによる VR 画像を掲載し、実際に施設内を歩き回るような仕掛けを施した。また、スマートフォンからも閲覧しやすい設定を施したりした。「かすがい どこでもアート・ドア」については、事業内容の進化に伴いページもリニューアルした。</p> <p>(3) SNS のフォロワーは、昨年度と比較して X は 130 名、LINE は 254 名増えた。</p> <p>(4) 「朗読でなぞるシンジ・カトウ宮沢賢治幻燈館」では、「月刊はるる」での掲載をきっかけに、多くのお客様に公演を周知することができた。</p>
備 考	

事業名	インフォメーション事業				
収 入	264,520 円	支 出	1,007,908 円	自主財源比率	26.3%
事業内容	文化情報プラザを拠点に、自主事業の情報提供及び市内外の文化芸術情報の提供を行っている。チケットの Web 販売では、票券管理システムで 24 時間チケット予約ができるだけでなく、コンビニエンスストアでの発券およびクレジットカード決済も選択可能となっている。また、チケットカウンターでのクレジットカード端末導入によるキャッシュレス決済も運用している。交流アトリウムでは大型モニターを活用して、自主事業の情報を映像で随時発信している。				
実 績	<p>《チケット入金明細》・カード決済 969 件 1,860 枚・セブンイレブン決済 390 件 698 枚 ・現金 4,580 件 8,260 枚・郵便振替 17 件 35 枚</p> <p>《チケットカウンターでの現金支払い以外の決済数》 ・カード決済 773 件 1,529 枚・電子マネー (Edy) 決済 9 件 15 枚 ・QR コード決済 38 件 78 枚</p> <p>《チケット Web 販売数》2,468 件 4,702 枚 19,841 千円</p> <p>《チケットカウンター運営》9:00~17:00</p>				
成 果	カード決済数は前年度の 1.4 倍となり、導入以降右肩上がりに増えている。現金払い以外の決済方法の需要に応え、電子マネー、QR コード決済を導入し、お客様の利便性を高めた。チケット Web 販売数は、昨年度に比べて 146% 増となり、予約の半分以上を Web 予約が占めている。それに伴い、窓口での購入者が減少したため、チケットカウンターの営業時間を 17:00 に短縮した。				
備 考					

事業名	友の会事業				
収入	1,433,340 円	支出	878,976 円	自主財源比率	163.1%
事業内容	<p>自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスを受けられる有料の会員制度で、平成 14 年度から継続して運営している。平成 28 年 2 月より Web のみチケット先行予約が可能な無料の Web 会員制度を導入。</p>				
実績	<p>《友の会 PiPi 有料会員》年会費 1,500 円、962 名（新規入会 410 名、更新 552 名） 《無料 Web 会員》9,422 名 《提携ショップ》49 店舗</p>				
成果	<p>多くの友の会会員が毎年楽しみにしている「松竹大歌舞伎」を例年通り開催できたことで、会員が増加。また、立川志の輔落語、世良公則コンサート、のだめニューイヤーコンサートなど注目度の高い公演が続き、1,000 人に迫る会員数を獲得した。Web 会員も大幅に増加し、電話予約から WEB 予約への移行が進んだ。</p>				
備考					

2 受託文化事業

事業名	市制 80 周年記念 第 72 回春日井市民美術展覧会		
日時	8/19 (土) ~27 (日) 9:00~16:30 (初日 10:00 開場、最終日 12:00 閉場) 9 日間開催		
会場	市庁舎、ギャラリー		
入場料等	出品・入場無料		
入場者数	8,980 名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	4,894,007 円	助成金	—
		支出	4,894,007 円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象とした公募美術展覧会。審査会員による参考作品も同時に展示。開会式及び表彰式を 8/19 (土) に開催。会期中ギャラリートークを 3 回開催。</p> <p>応募 655 作品</p> <p>日本画 33 作品、洋画 111 作品、書 239 作品、彫塑工芸 34 作品、写真 136 作品</p> <p>委嘱作品 51 作品、参考作品 51 作品</p> <p>賞／市長賞、市制 80 周年記念賞、財団理事長賞、教育委員会賞、市議会議長賞、観光コンベンション協会会長賞、奨励賞、委嘱特別賞</p> <p>ギャラリートーク (日本画、洋画、書、写真にて開催) 参加者数計 312 名</p> <p>① 8/19(土)117 名、② 8/20(日)104 名、③ 8/26(土)91 名</p>		
成果	<p>第 71 回からポスターのビジュアルに高校生を含む市民展出品者の制作風景を採用し、加えて市内高校の芸術系部活動に出品を呼びかけた効果として、学生からの新規出品は 32 名増えた。全体の出品も昨年と比べ 26 作品増加し、新規出品者は 103 名と 29 名増加した。出品者に比例し来場者数も増加傾向にある。</p> <p>今年度より、出品者と鑑賞者が交流できる新しい試みとしてインスタグラム公式アカウントを作成した。アンケートからは投稿内容ではなくインスタグラムの利用を敬遠する意見がみられたが、利用者が増加すれば出品者と鑑賞者をつなぐ貴重なツールとなる可能性が高いため、長期にわたる効果測定を行う必要がある。第 72 回展も公開審査やギャラリートークを開催し、市民の作品発表・鑑賞及び美術作品への理解を深める機会を提供することができた。</p>		
備考	主催／春日井市、春日井市教育委員会 後援／中日新聞社		

事業名	市制 80 周年記念 第 43 回春日井市短詩型文学祭		
日時	1/27 (土) ~2/12 (月・休) 9:00~17:00 15 日間開催		
会場	交流アトリウム		
入場料等	出品無料		
入場者数	8,224 名	入場率	—
		自主財源比率	—
受託料	1,458,014 円	助成金	—
		支出	1,458,014 円
事業内容	<p>市内在住、在勤、在学者を対象として、文化活動の普及・振興を図ることを目的とした市民公募の文学祭。作品展では、特別賞受賞作品 54 作品及び秀逸作品 97 作品と審査員及び実行員による作品 16 作品も同時に展示し、表彰式を 2/4 (日) に開催した。</p> <p>応募／21,879 作品 (一般の部 1,005 作品、小・中学生の部 20,874 作品)</p>		

	<p>入賞／571 作品 作品集無料</p> <p>【一般の部】短歌、俳句、川柳、狂俳、詩</p> <p>【小・中学生の部】短歌、俳句、川柳、詩</p> <p>賞／市長賞、市制 80 周年記念賞、財団理事長賞、市議会議長賞、教育委員会賞、文化協会賞、秀逸、優秀（小・中学生のみ）、佳作</p>
成 果	<p>市民の文芸作品の発表と鑑賞の場を提供している本事業。令和 3 年度から無料配布している作品集を今年も 2,000 冊制作し、配布した。市制 80 周年記念となる今年、応募要項やポスター等の広報物に、クレメンス・メッツラー氏によるイラストをメインビジュアルとして起用し、より幅広い年代に気軽に応募してもらえるよう工夫した。その結果、一般の部で過去最高となる 1,005 点の応募に繋がった。</p> <p>関連事業では、10 代から 80 代までの老若男女が、鈴掛真の解説から短歌を詠むコツを学び、創作、鑑賞を行った。「短歌を初めて作ったが、楽しかった」「他の参加者の短歌が素晴らしかった」等の声が多く、短歌の魅力や創作を通じたコミュニケーションの楽しさを伝えることができた。春日井高校の「放課後おはなし会」では、「LGBTQ」をテーマに、有志の高校生の質問に答える形でトークセッションをおこなった。セクシャル・マイノリティ当事者の視点から、世間が抱くイメージに対する自身の想い等を語り、「家族や友人からカミングアウトを受けたらどうするか」といった具体的な質問にも真摯に答えていた。参加後のアンケートからは、「LGBTQ の人という面だけでみないでほしい、という言葉に共感した」等、多様性を認める社会になっていくことの重要性を認識した意見もみられた。</p>
関連事業	<p>(1) 鈴掛真「短歌ワークショップ」 7/9 (日) 14:00～16:30 グルッポふじとう 3 階大会議室 参加者数 25 名</p> <p>(2) 鈴掛真「短歌アウトリーチ」 7/10 (月) 13:25～14:15 春日井高校社会科教室 参加者数 80 名</p> <p>(3) 鈴掛真「放課後おはなし会」 7/10 (月) 16:15～17:50 春日井高校図書館 参加者 55 名</p>
備 考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、春日井市文化協会

事業名	かすがい文化フェスティバル 2023		
ミッション	3 普及啓発ーひろがる 4 地域コミュニティ形成ーつながる		
会場	文芸館、市民会館		
参加者数	計 532 名	入場率	—
受託料	773,234 円	助成金	—
		支出	773,234 円
事業内容	<p>夏休み期間に小学生を対象とした文化体験講座を実施。将棋、茶道、和楽器などの伝統文化をはじめ、粘土細工体験など様々なプログラムを用意する。また、9 月には家族で楽しめる野外アニメーション映画会を開催。</p> <p>《伝統芸能体験講座》</p> <p>全 13 講座 24 回 参加者数：367 名</p>		

- (1) 「楽しく茶道を体験しましょう！」
7/29(土)①10:00～10:50、②11:10～12:00 会場：和室
参加料：400円 参加者数：32名
講師：春日井市茶道連盟（春日井市文化協会）
- (2) 「ねんどでケーキのマグネットを作ろう！」
7/29(土)①11:00～12:00、②13:00～14:00 会場：視聴覚ホール
参加料：300円 参加者数：38名
講師：クレイクラフト・マロウ（春日井市文化協会）
- (3) 「美しいお花をいけよう！」
7/30(日)①10:00～10:50、②11:10～12:00 会場：会議室
参加料：500円 参加者数：34名
講師：春日井市華道連盟（春日井市文化協会）
- (4) 「親子で将棋体験！」
8/4(金)①11:00～12:00、②13:00～14:00 会場：視聴覚ホール
参加料：500円 参加者数：24組 48名
講師：室田伊緒（女流棋士、春日井広報大使）
- (5) 「自分でゆかたを着てみよう！」
8/5(土)①11:00～12:30、②13:30～15:00 会場：視聴覚ホール
参加料：無料 参加者数：18名
講師：春日井着装ききょう同好会
- (6) 「はかま姿で『能』を体験！」
8/8(火)①11:00～12:30、②13:30～15:00 会場：市民会館
参加料：無料 参加者数：10名
講師：伊藤裕貴（シテ方観世流能楽師）
- (7) 「日本一の和太鼓に挑戦してみよう！」
8/9(水) ①11:00～12:30、②13:30～15:00 会場：市民会館
参加料：無料 参加者数：52名
講師：転輪太鼓（春日井市文化協会）
- (8) 「琵琶・胡弓・鼓、いろいろな和楽器にふれてみよう！」
8/9(水) ①11:00～12:00、②13:30～14:30 会場：市民会館
参加料：無料 参加者数：26名
講師：春日井市民謡協会（春日井市文化協会）
- (9) 「お琴にさわってみよう！弾いてみよう！」
8/10(木) ①11:00～12:00、②13:00～14:00 会場：視聴覚ホール
参加料：100円 参加者数：27名
講師：新箏曲みどりね会（春日井市文化協会）
- (10) 「いろいろな濃さの墨で絵を描いてみよう！」
8/11(金・祝) 13:30～15:00 会場：視聴覚ホール
参加料：100円 参加者数：17名

	<p>講師:春日井水墨画協会(春日井市文化協会)</p> <p>(11)「かっこよく着物を着て、日本舞踊を体験しよう!」</p> <p>8/11(金・祝) ①11:00~12:00、②13:30~14:30 会場:市民会館</p> <p>参加料:無料 参加者数:18名</p> <p>講師:春日井市日本舞踊協会(春日井市文化協会)</p> <p>(12)「親子で囲碁体験!」</p> <p>8/16(水) ①11:00~12:15、②13:00~14:15 会場:交流アトリウム</p> <p>参加料:500円 参加者数:15組30名</p> <p>講師:大澤健朗(囲碁棋士)</p> <p>(13)「みんなが知っている曲で親子で和風に踊ってみよう!」</p> <p>8/19(土) 10:30~12:00 会場:市民会館</p> <p>参加料:無料 参加者数:17名</p> <p>講師:精煌会</p> <p>《秋の夕暮れシネマ》</p> <p>「シチリアを征服したクマ王国の物語」</p> <p>9/10(日) 18:30~20:00 屋外広場 ※当日は雨のため、交流アトリウムに会場変更</p> <p>入場無料 入場者数 165名</p>
成 果	<p>子どもたちが普段は触れる機会の少ない、伝統文化体験の場をつくることができた。また、春日井市文化協会に講師をお願いし、多世代間の交流を生むことができています。今年度は開催日を分散させ多くの参加機会を提供し、初めて能の講座を開催するなど、幅広い選択肢を与えることができた。</p>
備 考	<p>主催/春日井市、公益財団法人かすがい市民文化財団</p>

事業名	市制80周年記念事業 将棋フェスティバル2023		
日時	11/23(木・祝) 10:00~16:45		
会場	交流アトリウム、視聴覚ホール		
参加者数	計408名	入場率	—
受託料	1,422,491円	助成金	—
		支出	1,422,491円
事業内容	<p>市制80周年記念事業として、広報大使・室田伊緒女流二段をはじめとしたプロ棋士を迎えて、公開対局や指導対局、トークショーなどを実施した。また、こども将棋大会の開催など1日通して様々な形で将棋を体験してもらう機会とした。</p> <p>(1) こども将棋大会「サボテン杯」</p> <p>10:00~13:00、会場:交流アトリウム</p> <p>Aクラス(年少~小学3年生) 32名</p> <p>Bクラス(小学4年生~小学6年生) 30名</p> <p>Cクラス(中学1年生~中学3年生) 26名</p> <p>参加料:無料</p> <p>(2) プロと対局!多面差しぐるぐる将棋</p>		

	<p>①10：15～11：30（18名） ②11：45～13：00（26名）会場：視聴覚ホール 講師：杉本昌隆八段、山崎隆之八段、齋藤裕也四段、室田伊緒女流二段、 中澤沙耶女流二段 参加料：3,000円</p> <p>(3) サイン会 ①11：00～11：20（10名） ②12：00～12：20（10名） 会場：視聴覚ホールホワイエ 棋士：①杉本昌隆八段、②山崎隆之八段 参加料：5,000円</p> <p>(4) 初心者講座 ①11：00～11：20（35名）、②12：00～12：20（31名）会場：視聴覚ホール 講師：①室田伊緒女流二段、②中澤沙耶女流二段 参加料：無料</p> <p>(5) プロ棋士トークショー ①14：20～14：40、②14：40～15：00 会場：交流アトリウム、 棋士：杉本昌隆八段、山崎隆之八段、齋藤裕也四段、室田伊緒女流二段、 中澤沙耶女流二段、 司会：森本尚太 参加料：無料 来場者数：190名</p> <p>(6) プロ棋士公開対局 15：15～16：45 会場：交流アトリウム 対局：山崎隆之八段、齋藤裕也四段、解説：杉本昌隆八段、室田伊緒女流二段 読み上げ：中澤沙耶女流二段 参加料：無料</p>
成 果	<p>春日井市で開催されるのは10年ぶりとなる将棋フェスティバル。子どもから大人、将棋初心者から愛好家まで、幅広い方が参加できるプログラムを用意することができた。こども将棋大会の参加賞としてミニサボテンを用意するなど、広報大使の室田氏とともに春日井ならではの魅力発信に努めた。</p>
備 考	<p>主催：春日井市、共催：日本将棋連盟春日井支部、後援：公益社団法人日本将棋連盟</p>

3 共催事業

事業名	市制 80 周年記念 小野道風公奉賛 第 75 回 全国書道展覧会「道風展」		
日時	【本展】10/29(日)～11/5(日) 9:00～16:30 8日間開催 【VR展】10/29(日)～12/3(日) 36日間開催 【特別巡回展】11/11(土)～11/26(日)16日間 【学生半紙の部巡回展】11/27(月)～12/17(日)21日間		
会場	【本展】市庁舎、ギャラリー、交流アトリウム 【VR展】観光コンベンション協会会長賞以上の作品をインターネット上で公開 【特別巡回展】道風記念館 【学生半紙の部巡回展】JR春日井駅自由通路展示コーナー		
入場料等	出品料 第1～4部 5,000円 第5部 3,000円 学生条幅の部 1,300円 学生半紙の部 400円		
入場者数	7,079名 (うち特別巡回展 173名)	入場率 ー	自主財源比率 ー
収入	7,155,283円	助成金 ー	支出 7,309,632円
事業内容	日本三跡の一人、小野道風の偉業を讃えて開催する全国公募の書道展覧会。開会式・表彰式を10/29(日)に開催し、11/3(金・祝)には作品解説会を開催した。 応募/5,894点 第1部(漢字)184点、第2部(かな)47点、第3部(近代詩文)70点 第4部(少字数)51点、第5部(小品)1点 一般部合計353点 学生条幅の部668点、学生半紙の部4,873点 学生部合計5,541点		
成果	出品数は昨年度に比べ406点増加した。すべての部門で増加し、特に一般部の漢字部で42点の増加は顕著であった。県外からの新規団体の出品のほか、学生条幅の部では強豪校からの出品も続いており、特別巡回展を含めると来場者数も1,500人以上増加した。また、有料で販売していた入賞者名簿を今年度からは作品集として無料配布し、多くの方に手に取っていただくことで、書のまち春日井の取り組みをアピールできた。		
備考			

業名	市制 80 周年記念・第 30 回記念 2023 春日井市民第九演奏会		
日時	12/10(日) 15:00～17:00		
会場	市民会館		
出演	指揮：井村誠貴 独唱：小林厚子(ソプラノ)、相可佐代子(アルト)、松本薫平(テノール) 池田真己(バリトン) 管弦楽：春日井市交響楽団 合唱：春日井市民第九合唱団(合唱指導：松下伸也、西畑佳澄)		
入場料等	A席 1,500円 B席 1,000円		
入場者数	832名	入場率 97.3%	自主財源比率 ー

収 入 -	助 成 金 -	支 出 -
事業内容	市民参加による毎年恒例の第九演奏会。今年は市制 80 周年と演奏会第 30 回を記念し、特別プログラムで開催した。ソリスト、春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団、賛助出演の成瀬ひろみバレエスタジオと合わせて約 220 名の出演者が舞台に立った。	
成 果	新型コロナウイルス 5 類移行に伴い、合唱団はマスクなしの力強い合唱を客席に届けることができた。また春日井市制 80 周年と演奏会第 30 回を記念し、オープニング曲として「わがまち春日井」の合唱、前曲ではバレエダンサーの舞踊も加わり、記念公演を大いに盛り上げた。プログラムでは第 30 回記念として、通常よりページ数を増やし「30 年の歩み」を掲載した。	
備 考	主催／春日井市、春日井市教育委員会、公益財団法人かすがい市民文化財団、 春日井市民第九演奏会実行委員会 共催／春日井市交響楽団、春日井市民第九合唱団	

4 職員派遣

事業名	職員派遣
事業内容 実績	<p>(1) 愛公文セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ 7/28(金)、9/15(金)、10/12(木) 10:00~17:00 愛知芸術文化センター</p> <p>(2) フロントスタッフ養成講座 9/3(日) 13:30~15:30 武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)</p> <p>(3) 劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援 9/19(火)、12/11(月) 大牟田文化会館</p> <p>(4) ファン・デ・ナゴヤ美術展「PINK Shine」ギャラリートーク「心と身体の生命力」 1/13(土) 13:00~14:00 名古屋市民ギャラリー矢田</p> <p>(5) 第5回アウトリーチ情報交差点 3/7(木) 13:30~15:30 いわき芸術文化交流館アリオス</p> <p>※派遣職員 米本一成(1)、小松淳子(1、2、3)、浅井南(4)、西野裕之(5)</p>
成果	<p>劇場、音楽堂等の活性化に関する法律第8条に基づき、劇場間連携を促進するため、上記の研修等に当財団職員を派遣。派遣職員の専門性向上及び劇場間のネットワーク構築に役立っている。</p>
備考	

令和5年度 施設利用状況まとめ（令和4年4月～令和5年3月）

(1)文芸館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
1 ギャラリー	52	48	92.3%	312	265	84.9%	42	貸館	31	一般	23	15,706	33,947	43	47,038
										減免	5	3,594			
										公用	3	2,782			
										受託	2	4,120			
財団 自主	11	共催	1	1,229	97.7%	72.2%									
主催		8	6,516												
一般		95	9,795												
減免		14	1,883												
2 視聴覚ホール	309	243	78.6%	927	528	57.0%	276	貸館	203	公用	94	8,059	23,075	265	20,466
										受託	8	285			
										共催	4	437			
										主催	61	2,616			
財団 自主	73	一般	20	1,234	104.2%	112.7%									
減免		45	863												
公用		191	4,631												
受託		13	260												
3 会議室	309	271	87.7%	1,854	1,107	59.7%	311	貸館	256	共催	4	49	8,406	363	8,366
										主催	38	1,369			
										一般	15	378			
										減免	131	2,292			
財団 自主	55	公用	155	1,402	85.7%	100.5%									
受託		1	20												
共催		2	45												
主催		27	522												
4 文化活動室	315	281	89.2%	945	580	61.4%	331	貸館	301	一般	34	351	4,659	303	5,123
										減免	7	503			
										公用	13	119			
										受託	4	77			
財団 自主	30	共催	0	0	109.2%	90.9%									
主催		61	99												
一般		2	390												
減免		5	1,860												
5 和室	309	125	40.5%	1,854	354	19.1%	119	貸館	54	公用	74	6,546	1,149	102	428
										受託	23	9,137			
										共催	24	2,687			
										主催	352	7,879			
財団 自主	65	主催	189	27,854	116.7%	268.5%									
一般		207	10,995												
公用		530	23,539												
受託		51	13,899												
6 交流アトリウム	316	312	98.7%	948	1,156	121.9%	480	貸館	81	共催	35	4,447	28,499	492	22,544
										主催	547	19,001			
										一般	2	390			
										減免	5	1,860			
財団 自主	399	公用	530	23,539	97.6%	126.4%									
受託		23	9,137												
共催		24	2,687												
主催		352	7,879												
合計							1,559	貸館	926	共催	35	4,447	99,735	1,568	103,965
										主催	547	19,001			
										一般	207	10,995			
										公用	530	23,539			
財団 自主	633	受託	51	13,899	99.4%	95.9%									
共催		35	4,447												
一般		2	390												
減免		5	1,860												

(2)市民会館

施設名	利用可能日数	利用日数	利用率(%)	利用可能区分	利用区分	回転率(%)	利用件数				利用者数	利用者数計	前年度 利用件数、比較	前年度 利用者数、比較	
							貸館	財団 自主	一般	減免 公用					
7 市民会館	309	225	72.8%	927	589	63.5%	190	貸館	153	一般	112	50,167	81,348	201	75,231
										減免	2	1,170			
										公用	39	18,950			
										受託	7	275			
財団 自主	37	共催	3	2,635	94.5%	108.1%									
主催		27	8,151												
一般		2	390												
減免		5	1,860												

※利用率＝利用日数／利用可能日数 ※回転率＝利用区分／利用可能区分
 ※利用可能区分＝利用可能日数／月×利用時間3区分(午前・午後・夜間)。ただし、ギャラリーは週単位の貸館で時間区分なし。
 ※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。
 ※交流アトリウムの回転率が100%を超えるのは、同日複数回の利用があるため

2 入館者数一覧(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	26	26	28	31	26	163	27	26	24	24	25	27	153	316	315	100.3%
ギャラリー	利用件数	4	2	4	4	4	3	21	4	3	2	5	3	4	21	42	43	97.7%
	利用者数	1,772	2,478	2,273	3,295	5,188	3,728	18,734	4,134	2,223	1,323	2,778	2,739	2,016	15,213	33,947	47,038	72.2%
視聴覚ホール	利用件数	14	15	25	30	32	28	144	22	23	24	23	20	20	132	276	265	104.2%
	利用者数	1,835	1,205	2,515	2,434	2,374	2,171	12,534	2,181	2,264	1,961	1,022	1,862	1,251	10,541	23,075	20,466	112.7%
会議室	利用件数	28	24	30	33	27	28	170	26	24	23	21	23	24	141	311	363	85.7%
	利用者数	463	493	961	860	527	1,106	4,410	1,237	541	693	374	465	686	3,996	8,406	8,366	100.5%
文化活動室	利用件数	28	25	33	31	30	28	175	23	31	26	27	22	27	156	331	303	109.2%
	利用者数	319	380	459	433	485	406	2,482	460	409	413	306	293	296	2,177	4,659	5,123	90.9%
和室	利用件数	12	6	7	14	6	8	53	10	13	12	10	14	7	66	119	102	116.7%
	利用者数	54	104	17	250	29	29	483	171	58	150	85	185	17	666	1,149	428	268.5%
交流アトリウム	利用件数	29	29	31	29	36	36	190	36	62	78	45	37	32	290	480	492	97.6%
	利用者数	1,196	849	2,145	734	784	3,327	9,035	2,252	2,035	1,021	7,531	4,631	1,994	19,464	28,499	22,544	126.4%
スカイフォーラム	利用者数	4,522	5,992	5,195	4,645	5,959	5,516	31,829	3,482	5,694	4,583	4,196	2,990	3,645	24,590	56,419	39,106	144.3%
ボランティアルーム	利用者数	80	95	108	115	113	99	610	73	80	84	86	103	65	491	1,101	638	172.6%
文化情報プラザ	利用者数	390	354	277	356	296	182	1,855	207	291	207	175	321	323	1,524	3,379	7,647	44.2%
日本自分史センター	利用者数	56	38	88	42	37	34	295	33	34	31	32	34	72	236	531	269	197.4%
計	利用件数	115	101	130	141	135	131	753	121	156	165	131	119	114	806	1,559	1,568	99.4%
	利用者数	10,687	11,988	14,038	13,164	15,792	16,598	82,267	14,230	13,629	10,466	16,585	13,623	10,365	78,898	161,165	151,625	106.3%

※鑑賞者が特定しづらい展示利用の場合は、交流アトリウムの利用人数に含めない。

※日本自分史センターは施設の特長上、利用者数の厳密なカウントが難しい。利用のほとんどは自分史相談と書籍の貸出し・返却であるため、この数を足したものを利用人数とみなす。

※ボランティアルームについては、人数が特定できる利用についてのみカウントする。

※文化情報プラザの利用者数＝チケットカウンターにてチケットを購入した利用者数。

	利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期 合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期 合計	合計	前年累計 (件・人)	対前年比 (%)
	開館日数	26	26	26	26	27	26	157	26	26	24	24	25	27	152	309	308	100.3%
市民会館	利用件数	11	14	10	16	25	16	92	23	18	14	17	13	13	98	190	201	94.5%
	利用者数	3,633	6,558	4,917	6,438	7,090	5,008	33,644	10,051	10,006	7,149	7,254	8,339	4,905	47,704	81,348	75,231	108.1%